

上級で学ぶ日本語

第1課 使いましょう

【A】～て初めて

本当はもう少し早く気づくべきことだったのだが、このことがあって遅まきながら気づいた。人生の節目を体験し、痛感したことをポジティブに述べる。

例1：一人暮らしをして初めて家事の大変さがわかりました。

家事に時間がかかることがわかりました。

例2：自分に子供が生まれて初めて親のありがたさがわかりました。

(子どもをもって初めて) 親の子供に対する愛情の深さに気付きました。

例3：病気になって初めて健康の大切さを痛感しました。

例4： ～ てはじめて自立したと言えます。

1. A：お子さん(ご主人、ワンちゃん) がいないと寂しいでしょうね。

B：ええ、あの子がいなくなって初めて子どもの存在の大きさがわかりました。

2. 友達に言われて初めて自分の配慮のなさに気づきました。

3. 親から経済的に自立して初めて社会人だと言えます。

4. 自分でやってみて初めてみんなの意見をまとめることが大変だと感じました。

3. 「～と言えます」「～と言えます」は反論として使われるのではないか？

4. に関して「感じる」という言葉とのすわりが悪い。学生に提示しなくてもよいのかもしれない。

学生が受け入れ易いであろう語彙は：

親の有難さ 愛情の深さ 人の温かさ／優しさ 仕事／家事の大変さ

健康／時間の大切さ 責任の重さ

使う動詞は、(に) 気付く (が) わかる

恋をして初めて、人の優しさがわかった。←その節目は一般的なこと

【B】～はともかくとして

①良いか悪いのか、いまは評価したりせずに、それよりもまずは言いたいことがある場合。

ただ、自分のことについて言うときは別として、相手に言う場合は立場が上の者が下の

者に対して使うことが許されるなど、学習者に注意を促す必要がある。

例1：見かけはともかくとして味は悪くないと思うのでちょっと食べてみてください。

←美味しいから食べて、と言いたい分析的な教養が邪魔をして素直に言えない。みかけだけ見ると美味しそうに見えないから積極的に薦める根拠に自信がない。

例2：この作文、内容はともかく字が汚いので、読む気になれませんよ。

←まだ読んでいない。読む前にひとこと言いたい。

例3：終わったことはともかくとして、これからのことについては真剣に考えなければならない。

←優先をはっきりさせる。もちろん“終わったこと”に関しても考える必要はある。

1. A：いいデザインでしょ？

B：ええ、しかし、デザインはともかくとして値段が高すぎますよ。

2. 予習はともかく、最低限、復習（宿題）だけはやってください。

もちろん、予習をしてくればそれはいいのだが、それよりもなによりも復習（宿題）が大事なので、優先順位をつけてまずそれを述べる。

4. できるかどうかはともかくとして、試験に向けて何をどう勉強をすべきか、まず、考えましょう。

②問題にしないですむケースや立場もあるにはあるが、実際はそうではないのだからヘンだ、おかしい、と言いたい場合。

例1：学生ならともかく社会人になってからもまだ親からお金をもらっているなんておかしいと思いませんか。←学生という立場なら許されるが、社会人ではダメ。

例2：平日ならともかく週末は混んでいて大変でしょう。（人気のあるレストランの予約）
←平日まで混んでいることはないだろう。

3. 子どもならともかく、あれぐらいのことで泣くなんておかしいよ。

子供ならする、ということの、学生とのコンセンサスが必要。

泣く　へそを曲げる　ダダをこねる←“なんて”の指すもの

また、子供ならしても許されるが、大人がしたらおかしいことはなんだろう、と考えさせる。

例として、子供ならともかく、大人が漫画に夢中になるなんておかしい。

大学生が首相の名前を知らないなんておかしい。

一般的な立場が難しいものとして：

アフリカならともかく、日本で餓死する人がいるなんて。

譜面が読めるならともかく、全盲の人が優勝するなんて。

女ならともかく、男子が泣くなんて。

軽い口語で使う場合は“として”不要。論ずる場合“ともかくとして”を使うと、

例3：40歳の甥にお見合い話を持って来た叔母の言：

そろそろ考えてもいいんじゃないの。写真があるからまず見てみてよ。

(甥が面食いだとわかっているの) 顔はともかくとして性格の良い人なの。

←まっさきに言いたいことは“性格の良さ”

【C】 あくまでも

① 誰がなんと言おうと立場は変わらない、ポリシーの主張。まず闘争ありき。

例1：構造改革はあくまでもやりぬくつもりです

例2：郵政民営化にはあくまでも反対です。

例3：環境破壊につながる開発にはあくまでも抵抗するつもりです。

例4：核開発にはあくまでも反対です。(核兵器の使用)

1. A：僕はどんなことがあってもあきらめませんよ。

B：君があくまでも離党して新党を作ると言うなら、私はもう反対しません。

2. 誰がなんと言おうと、私はあくまでも彼女と結婚するつもりです。

3. 日本の核武装にはあくまでも反対です。

② 当然あるべき姿を主張する。

例1：裁判官はあくまでも冷静であるべきだ。

例2：教師はどの学生に対してもあくまでも公平に接するべきだ。

4. 憲法9条の平和主義はあくまでも守るべきだと思います。

裁判官は(感情に流されず)あくまでも冷静に判断するべきだと思います。

【D】 ～ にすぎない

① 誤解されないために、それ以上でないことをはっきりさせておく必要がある。

例1：彼は友達の一に過ぎない。←嫉妬した彼氏が自分をとがめたとき

例2：彼とは仕事上の付き合いに過ぎない。←彼が痴情事件を起し、自分は警察から聴取

を受けたので、彼のプライベートな面を知らないことを力説、無関係を主張する。

4. アルバイトに過ぎない私に店長の代理を務めるのは無理ですよ。

②単にそれ以上ではない、存在を小さく見せて世間やその場をしのぐ。

例1：偉大なる建国の父といっても、毛沢東も一人の男に過ぎませんでした。

← “男” という言葉の持つステレオタイプを受け入れる。

一人の 一介の 一市民 一社員 一個人 ←無力だと思われているもの
一人の男=男として抗えない事由があって不可抗力の行動をとった。

2. 一国の首相といっても、一人の人間に過ぎません。

③本当にできるかどうかわからないので、言っではみるが、まずは責任を回避しておく。

例1：30歳までに結婚して、35歳までに子供を持って、40歳でうちを建てる、いまの段階ではあくまで計画に過ぎませんけどね。

3. (北朝鮮の) 長距離ミサイルを迎撃するというのはあくまで計画に過ぎません。

④謙遜する

例1：私は人として当たり前のことをしたに過ぎず、決して特別なことをしたわけではありません。←誰かを助けるなどの行為に対して、称賛の言葉を受けた人が述べる。

1. A：料理がお上手だそうですね。

B：いやあ、料理ができるといっても、自己流に過ぎないんです。

← “お上手” という言葉が持つ意味を把握しておく。お世辞。

自己流、家庭料理、など謙遜するニュアンスが必要。

“ゆで卵” など簡単なものの名称を言うのは×

上級で学ぶ日本語

第2課 使いましょう

【A】～のことだから

その人の性格や能力、素質から考えて、ある状況下でどうなるか自信を持って予測する。
過去に起こったことではなく、予測であることに注意

例1：(母国にいる親や友人が、日本に留学したX、Y、Zさんのことを気にしての会話
後半はできるだけ学生に作らせる)

A：Xは今ごろどうしているかな。

B：しっかりしているXのことだから、日本でもしっかりやっていると思うよ。

さびしがりやのYのことだから、毎日泣いているんじゃない？

がんばりやのZのことだから、きっといい大学に合格するだろうよ。

例2：(昨日A先生とけんかしてしまった。A先生は許してくれるか心配している。)

A：A先生は許してくれるかな。

B：やさしいA先生のことだから、きっと許してくれると思いますよ。

例3：(遅刻常習犯のDが今日もいないが、どうしたのか心配している)

A：Dさんがいませんね。どうしたんでしょう。病気でしょうか。

B：遅刻常習犯のDのことだから、きょうも遅刻だと思いますよ。

例4：(友達のEさんが奨学金に応募したが、もらえるかどうか心配だ)

A：Eさん、奨学金もらえるでしょうか。

B：優秀なEさんのことだから、きょうももらえると思いますよ。

1. (マラソン大会で、まだ山田がゴール地点に来ない)

A：山田君はどうしたのかな。

B：大丈夫。体の丈夫な山田君のことだから、きっと元気でゴールすると思うよ。

きっと大丈夫だ

(みんなで待ち合わせをしているが、山田が来ない。最近残業が続いているというので、心配だ)

A：山田君はどうしたのかな。

B：大丈夫。体の丈夫な山田君のことだから、きっと元気で現れると思うよ。

「体の丈夫な」という条件をうまく使える状況を考える必要がある。

2. (学校で、朝の始業時にまだ山田が来ていない)

A: 山田さんはどうしたのかな。

B: いつも遅刻する山田君のことだから、今日も遅刻じゃない。

元気な

今日も元気に来るんじゃない。

(ここに「ん」を入れるのは難しい。)

朝に弱い山田君のことだから、今日も寝坊じゃない。

3. (数学の問題が解けない、日本語の問題ができない)

A: この問題難しいね。

B: 高橋先生に聞けば。何でもできる高橋先生のことだから、この問題もきっと解けるよ。

何でも知っている

やさしい

教えてくれる

親切な

教えてくれる

4. (京子さんが作った料理を食べる。初めて食べる料理である)

A: これ、おいしいね。

B: 何でも挑戦する京子さんのことだから、きっと自分で考えて作ったんだよ、たぶん。

熱心に研究する

きっと工夫して

何でも一生懸命やる

きっと心を込めて作ったんだよ。

5. (山田が留学することについて、二人の友人が話している。)

例1 A: 山田君、留学しようと思ってるんだって。(留学することが決まっている場合)

B: 向学心のある山田君のことだから、きっと成功するだろうよ。(留学後のことを想像している)

例2 A: 山田君、留学しようと思ってるんだって。(留学するかどうか迷っている場合)

B: すぐ気が変わる山田君のことだから、きっと行かないと思うよ。

例3 A: 山田君、留学しようと思ってるんだって。(留学するかどうか迷っている場合)

B: 手続き面倒なんだろう。実現しないんじゃない。(だれかが否定的な予測をする)

C: ぼくは、有言実行の山田君のことだから、きっと行くと思うよ。(それに反して肯定的な予測をする)

【B】～次第

何かが完了したら、すぐすると確約する。またすぐするように指示する。客と店員の間など、業務上で使われることが多い。自然になることなく、「する」こと。「次第」の前の形は「する動詞」の「するをとった形」または、「ます形」の「ます」をとった形

例1：(学校で、ある学生が授業料納入日を過ぎても、まだ払っていない)

A (職員)：授業料はいつ払いますか。

B (学生)：給料をもらい次第、払います。

例2：(客がインターネットまたは電話で商品購入手続きをした。代金は銀行に振り込む)

A (客)：品物はいつ届きますか。

B (販売員)：入金を確認次第、発送します。

1. (購入した品物の準備がまだ届かないので、客が怒って店に文句を言う)

A (客)：おい、まだか。

B (店員)：すみません。ただ今在庫が切れていますので、入荷次第、お宅へお送りします。

(大学で、課題レポートの締め切り日にある学生はまだ書き終わっていない。明日から夏休みである。)

A (教師)：おい、(レポートは)まだか。

B (学生)：すみません。書き終わり次第、お宅へお送りします。

研究室にお持ちします。

(レストランで、注文したものがなかなか来ないので、客が怒っている)

A (客)：おい、まだか。

B (店員)：すみません。出来上がり次第、お持ちします。

「おい、まだか。」という言葉がどんな状況で話されるかが問題である。

後件を「お持ちします」などに変えれば、出前、配達などの状況も可。

2. (バスツアーの途中で、客たちが今土産物屋で買い物をしている)

A (客)：もう少しいいですか。

B (ツアーガイド)：あまり時間がございませんので、

お買い物が終わり次第、 バスにお乗りください。

トイレが終わり次第、 すぐ出発します。

食べ終わり次第 すぐ出発したいと思います。

準備が出来次第、

3. (大学のゼミのクラスで、学生がこれからプレゼンテーションをする。今、準備をしている。)

B (教授)：準備はできましたか。

A (学生)：後五分くらいです。

B (教授) : じゃ、準備ができ次第、始めてください。

(演劇) 準備ができ次第、始めてください。

(スポーツの試合) 準備運動が終わり次第、始めてください。

4. (アルバイトで「こっちの仕事手伝ってくれないか。」と言われて)

すみません。こちらの仕事が終わり次第、そちらにまいりますので。

こちらの仕事が片付き次第

(スタッフが入り口でゲストの到着を待っている。監督に「まだですか」と言われて)

すみません。ゲストが到着次第、そちらにまいりますので。

5. はい、それではわかり次第、ご連絡いたします。(会話を打ち切るための言葉)

入荷次第

(店で在庫切れの品物を購入した客との会話のしめの言葉)

「それでは」があるので、即対応するという姿勢を見せて、会話や交渉を終わらせるための言葉。クラスではどんな状況で使われるかを学生といっしょに考える。

【C】～と見られる

研究者、専門家が研究、分析した結果の予測、推測。大方の予想。

例：インドの人口は、21世紀中に中国を抜いて、世界一になると見られている。

21世紀半ばに日本の人口は半減すると見られている。

1. 「見られる」は会話では使われないので、ニュースのレポーターの言葉として練習する。

殺人犯が逃走に使ったと見られる車が発見されたそうです。

殺人に使われたと見られる血の付いた包丁が発見されたそうです。

地球に存在しないと見られる石が発見されたそうです。

石器時代の動物の骨と見られるものが発見されたそうです。

2. (宝石店、美術館、銀行など侵入しにくいところにどろぼうが入った)

A: どろぼう、どうやって中へ入ったんだろうね。

B: ニュースでは「裏口のドアを破って中に入ったと見られる」って言ったよ。

ベランダに上って

電気工事員に化けて

一般の家庭ではなく、侵入しにくいところと想定して、想像を働かせるとおもしろい。

3. 地球の自然破壊は進む一方で、森林の？%は失われると見られています。
いずれ南極は消滅する
4. 去年から就学生の数が増えているので、今年(大学入学)試験はかなり厳しいと見られています。(日本語教育関係者の予測)
日本語能力試験は、去年やさしかったので、今年(大学入学)試験は難しいと見られています。
5. 日本で少子化が進んでいるのは、働きながら子育てをする環境が整備されていないの
が(一番の)原因だと見られています。
子どもの自殺が増えているのは、_____

【D】 ~にしてみれば

一つのこと(勉強、進学、就職、規則、体罰、リストラ、日本語など)に対する立場(親と子、教師と学生、日本人と外国人など)によるとらえかたの違い、判断の違い。話者は後件の立場に立っている。

「~にとっては」「~の立場からは」などと、組み合わせて使われることが多い。「~にしてみれば」を使うと、話者がその立場に立って言っていることを示す。

例：親は子どもにいい大学に入れと簡単に言うけれど、子どもにしてみればたいへんなことである。

学校の規則では_____と決まっているけれど、学生にしてみれば、それは納得できないことである。(ものである)

1. (スキューバダイビング) (クリスマスパーティーの司会者を募集している)
 A : やってみようよ。簡単じゃない。
 B : ジョンさんにとっては簡単なことでも、私にしてみれば勇気のいることなのよ。
大変なことなのよ。
2. A : 円がまた動いていますね。
 B : 国内産業ならそんなに影響はないでしょうが、輸出関連の会社にしてみれば
大企業 _____ 中小企業
 たいへんなことでしょうね。
3. 日本人にしてみれば日本語でメールをすることはたやすいことかもしれないけれど、
残業するのは普通のことかもしれないけれど、
 外国人にはなかなかたいへんなことである。

外国人側に立って言いたいので、「日本人にとっては日本語でメールをすることはたやすいことかもしれないけれど、外国人にしてみればなかなかたいへんなことである」のほうがいい。

4. 両親の立場からは子供を収入のいい仕事につかせたいかもしれないが、

将来のためになると思って勉強させるのだが、

子供にしてみれば自分の好きな仕事につくことが一番である。

迷惑なことである。

5. 会社側から言うとリストラはしかたがないことだが、社員にしてみれば納得できないことである。

会社側から言うと税金は安いほうがいいが、税務署にしてみれば高いほうがいい。

文末を「ことである」「ものである」で結ぶと落ち着きがよい。「納得できないことである」で結ぶと文が作りやすい。

上級で学ぶ日本語
第3課 使いましょう

【A】 ~ざるをえない

外的要因や状況の切迫のため、「本当はやりたくないが、やむを得ずする」といった不本意な気持ちで自分の立場を表明する。作文の際は、誰が、どのような立場を表明するものかをはっきりさせること。

例1：(教師が自分の経験を述べる。文末は過去形。その当時はその選択をしないわけには
いかなかった というニュアンスになる)

本当はずっと仕事を続けたかったが、主人が海外転勤になったのでやめざるを得な
かった。

仕事を続けたかったが、病気のため辞めざるを得なかった。

会社が倒産したので、転職せざるを得なかった。

子どもをもう一人欲しかったが、(経済状況、住宅事情、子育て環境から) 出産をあ
きらめざるを得なかった。

例2：(学生の立場で言う)

留学試験の結果が悪ければ、大学進学を断念せざるを得ない。

どうしても国立大学に行きたかったが、留学試験 300 点以下では、国立大学はあき
らめざるを得ない。

(出席率が悪くて) ビザの延長が認められなかったら、帰国せざるを得ない。

例3：(上司、先生から言われて、しかたなくやった。言い訳のニュアンスにもなる)

本当は飲めないのに、上司がしつこくすすめるので、飲まざるを得なかった。

(どうして早く帰ってこなかったのかと奥さんに責められて)

本当は早く帰りたいかったのに、上司が飲みに行こうと誘うので、行かざるを得な
かったんだ。

1. A： テスト (留学試験)、どうだった。

B： うん。もし結果が悪ければ、大学進学をあきらめざるを得なくなるかもしれ
大学進学をあきらめて帰国せ
ないね。

「そうならないように十分努力したのに、不本意ながらそうするしかない」という前提

が大切。上記のような会話で、軽く済ませる話ではないことを学生に明示すること。

2. (今週末 BBQ パーティーがある／山登りをする。週末は天気が悪そうだ)
パーティーに絶対行くと約束した以上、たとえ雨が降っても行かざるを得ない
いっしょに山登りをすると
でしょう。
3. (日本人の知り合いが家に招いてくれ、料理を作ってくれたが、実は苦手な料理だ)
料理を作ってくれたので、苦手な料理も食べざるを得ませんでした。
4. (健康診断の結果を見ながら、医師が患者に言う場面)
(患者は手術したくないといったが)
この結果を見た限りでは、手術をせざるを得ないと思います。
(患者は手術して治したいといったが)
この結果を見た限りでは、手術はあきらめざるを得ないと思います。
5. (他にもっといい方法が見つからなかったら、これをせざるを得ないという状況を
世界 vs 国、学校 vs 学生 などの関係で提示するとわかりやすい)
国際社会から非難を浴びたら、アメリカはイランから撤退せざるを得なくなる。
学校は勉強が最優先というが、親からの仕送りが止まったら、アルバイトを二つせ
ざるを得なくなるだろう。

「～と言わざるを得ない」は慣用表現でよく使われるが、ここではあえて提出しない。

[B] ~てからというもの

「その出来事をきっかけとして」それ以前と以後とで大きな変化が起こり、それがずっと継続していることを表す。変化は、いい方向、悪い方向どちらでも可。

例1：産地偽装や賞味期限切れの事件が明らかになってからというもの、食の安全に関心を持つ人が増えてきた。

例2：(教師の実例等)

父は単身赴任、兄は大学生活で家を出て行ってからというもの、母はちゃんと料理を作る意欲をなくしている。

1. A：弟さんはお元気ですか。

B：元気は元気なんですが、帰国してからというもの、ずっと定職につかないでぶらぶらしているんですよ。(以前はまじめに仕事していたのに、という気持ち)

帰国してからというもの、毎日ずっと仕事に追われているんです。

(以前に比べて仕事量が激増したから大変という気持ち)

2. 父が九州に転勤してからというもの、家族揃って食事をすることはありません。
3. 転校して環境が変わってからというもの、彼女はとても明るくなりました。
恋人ができて
4. 裁判員制度が導入されてからというもの、司法に関心を持つ人が増えてきました。
5. 大阪で新型インフルエンザ感染のニュースが報道されてからというもの、旅行のキャンセルが相次いでいる。

【C】 ～はもとより

前件は当然のこと、でもそれだけでなくもっと。「元より」なので、前件には基本的なこと／もの／人が入り、そこから広がっていくことがわかるような例文を提出すること。

例1：(温室効果ガスの排出量はアメリカ、中国、ロシア、日本が上位4国)

温室効果ガスの排出規制では、アメリカ、中国、ロシア、日本の上位4国はもとより世界全体に努力が求められている。

例2：(日本はアニメ大国だが) サブカルチャーとしてのアニメは日本はもとより、世界中で人気が高まっている。

RPGなどのゲームには子どもはもとより、大人も夢中になっている。

1. あの事故は、現場地域の新聞はもとより、全国紙にまで記事が出ていた。
2. 問題を抱えている地域はもとより、他の地域でもいろいろな対策が進められて
周辺地域

います。

雇用の安定については、中小企業はもとより、大企業にまで広く努力が求められています。

3. これ以上円が高くなると、日本経済はもとより世界経済全体にも大きな影響が出
輸出入品 物価全体

ることが考えられます。

4. 不況による経費節減のため、派遣社員はもとより、正社員にもリストラが及んで
いる。

裁判員制度導入については、一般市民はもとより専門家からも不安の声が上がった。

【D】 ～うものなら

外部からのちょっとした刺激で、大惨事になるから気をつけて、と注意を喚起する。
誇張した表現としても使う。

「万一／ちょっと～でも～うものなら～てしまう」の使い方がおさまりがいい。

例1：(脆い家・山、怖い犬の写真を提示して、ここにどんな刺激がきたら、どのような惨状になるか予測してもらおう)

地震で地盤が緩んでいるところに雨でも降ろうものなら、あっという間に土砂災害が起きるだろう／起きてしまう。

東京のような大都市では、ちょっとでも雪が降ろうものなら、すぐ交通が麻痺してしまう。

あの犬は気が荒いから、ちょっとでも近づこうものなら、かみつかれてしまう。

例2：(誇張表現)

(部下を叱りたいが)今の若者はわがままなので、ちょっと注意でもしようものなら次の日から会社に来なくなる。(だからなかなか注意できない)

母は気が強くて、私が何か文句でも言おうものならその10倍になってかえってくる。

1. A：台風が来るんだって。あそこの家、大丈夫かな。

B：ううん、このままじゃ、ちょっと強い風でも吹こうものなら飛ばされてしまう
倒れてしまう

だろうね。

2. 部長、今とても機嫌が悪いからね。こんなときは誰かが何か言おうものなら、雷が落ちるから、あまり近づかないほうがいいよ。

3. 原子力はちょっとでも扱い方を間違おうものなら、爆発する危険がある。

薬は 毒になってしまう危険がある。

4. 誰かがちょっと非難でもしようものなら、今の彼女はそれだけで泣き出してしまうだろう。

ちょっとでも無理をさせようものなら、彼女は寝込んでしまうだろう。

5. 企業は信用が第一だ。一度でも不祥事を起こそうものなら、企業イメージは失墜してしまう。

安全には万全の備えが必要だ。ちょっと油断でもしようものなら、大事故を招いてしまう。

<上記文型を使った例文>

今日、我々は原子力と切っても切れない生活を送っている。特に日本は、1963年に初の原子力発電に成功してからというもの、電力を賄うために原子力発電に依存せざるを得ない状況だ。しかし、万一原子炉の事故でも起こるものなら、その被害は計り知れない。そこで、これからの人類に必要なことは、エネルギー消費量の削減努力である。国はもとより、我々一人一人に問われている大きな問題である。

上級で学ぶ日本語
第4課 使いましょう

【A】 ～に違いない

何らかの根拠に基づく話し手の強い確信。主観的で思いこみの側面もある。

例1 T：朝、お財布に1万円入れたんだけど、さっき見たらなかったんですよ。

どうしてでしょうか。

S：本当に入れたんですか？

T：朝、夫にもらったから間違いありません。

S：盗られたんじゃないですか？／どろぼうだ！・・・

T：私もどこかで盗られたに違いないと思っているんですよ。

例2 T：～さん、今日もまだきていないのですね。いつも遅刻しますね。

今日も遅刻するに違いないですよ。

1. A：最近、京子さんずいぶん元気がなさそうだね。

B：きっと何か大変なことがあったに違いない。

その他 忙しそう／仕事が見つかった 明るい／彼氏ができた（←「何か」を
はずせばいい）

2. A：誰、ここのお菓子を食べたのは。

B：太郎に違いないさ。さっきお腹がすいたって言っていたから。

その他 私のおしりを触った／デレデレしていた
お皿を割った／そこから逃げるように出て行った

3. A：どうして私がやったに違いないと言えるんだい。

B：だって、ここには私とあなたしかいないから。

その他 あいつがやった／あいつだけ来なかった
どこの大学でも合格できる / 留学試験で380点だった

4. 電話に出ても相手が話さなかったから、あの電話はいたずらに違いないと思います。

その他 あの声は聞いたことがないから 出たらすぐに切れた
5回も続けて無言電話がかかってきた

5. ここに犯人の車があるから、犯人はこの辺にいるに違いないと思います。

その他 ・こんな時間まで帰ってこない／きつとうちの子はどこかで遊んでいる
・私の電話番号は家族以外知らないから／あの電話は親族の誰かから

3. A : どうして今日雨が降るに違いないと言えるんだい。

B : だって、天気予報で言っていたから。

*この文は客観的なのでこの文型には合わない

4. いたずら電話の意味を間違い電話と誤解していた学生がいた

【B】 ~ともなると

① (段階、程度があがり) Xになると特に、あるいは普通とは異なり Y という状態になる。
後件は断定的に使う。

②もしXの場合はYになる or なるでしょう。Yは話者の判断や推測など。

例1 (①) T : 小さい頃、お父さんお母さんのふとんで一緒に寝てましたか。
いつ頃から寝なくなりましたか。

S : 小学校高学年ごろ。←これについては紛糾。

T : 小学校高学年ともなると、親と一緒に寝なくなりますね。

例2 (②) T : 表参道は今は普通の町並みだけど、クリスマスともなるとイルミネーションで輝く町に劇的に変わります。

後件Yの変化は劇的な変化だということを強調したほうがいい。

1. A : ここはずいぶんにぎやかですね。

B : ふだんはこんなものですが、休日ともなると、歩くのも大変ですよ。(②)

その他 祭りの日 セールの日 旧正月

2. 一、二泊の旅行なら小さい鞆一つでいいが、数ヶ月の海外旅行ともなると、スーツケースを2つぐらい持っていかななくてはいけない。

その他 戸締まりをしなくていい/戸締まりをしなくてはいけない

薬を持っていかなくてもいい/たくさん薬を持っていかなくてはいけない

3. (会議で大統領が寝ていたけど、) 大統領ともなると寝る時間もないぐらい忙しくて大変なのだろう。

その他 単純な散歩まで危ないと言うことになってしまう

日常生活も注目される 平凡な生活は望めないでしょう

4. 平凡な一市民と違って有名女優ともなると町を歩くだけで大騒ぎになる。

その他 個人商店の社長/大企業の社長/重責を担わされて大変だろう

5. 一流の料理人ともなると、さすがに何を作ってもおいしい。

その他 ・ノーベル賞/受賞は難しい

・大学生／忙しくなるでしょうね

3. ×国のために頑張るに違いない。←「頑張る」の意味が漠然としているので、具体的なことを言わなければならない。e.g. 苦渋の選択をしなければならないときもある

×性格が大きく変わった←後件に結果的になったことは入らない

4. ×アルバイト／就職した／社会人になる←後件に一般的な結果は入らない。社会人になって、どのような責任がかかるかという具体的な内容があればOK

×子供／大人／わがままな人ではない←わがままは許されないならOK

×貧乏人／お金持ち／シャネルのバッグを買うに違いない←後件に「買う」という「意思をもってする」ことを入れることはできない

【C】 ～に限らず

XだけではなくYも。(XとYは対になるもの、あるいはYは不特定多数)

例1 T：映画のレディースデイを知っていますか。男性はいつも1800円でしか見られないのでしょうか。

S：映画の日があります。

T：映画の日は女性に限らず、誰でも1000円で見られますね。

例2 T：～さんはクラシック音楽が好きだと言っていましたね。いつも聞くのはクラシックですか。

S：いいえ、クラシックに限らず、何でも聞きますよ。

1. A：(何の話？パーティーと限定した後) 誰が参加してもいいんですか。

B：ええ、ここはこの学校に学生に限らず、どなたでも参加していただけます。

その他 会員／参加して

2. A：自然破壊はここだけではないんでしょう。

B：ええ、この村に限らず向こうの山にまで広がっています。

その他 周囲の村に／広がっている あの村に／破壊が及んだ
全国どこでも見られます ←「まで」を消した場合

3. A：物が高くて困っちゃいますね。

B：ええ、しかしこれは東京やニューヨークに限らず、大都会はどこでも同じです。

その他 ・物価がたかいですよ

・そういう傾向をみせています

4. 中国人や韓国人に限らず、留学生はみんな生活が大変ですよ。

その他 ・アルバイト／派遣社員に／正社員も首になることがある。←「は」を「も」に変えた例

5. この学校に限らず、日本語学校はみんな学生の急増で対応に追われている。

その他 ・日本のアニメは子供／大人にも人気がある
・あいつ／ここにいた人たちは誰でもやった可能性がある
・犬／他のペットでもこのレストランと一緒に入ることができる

2. ×あちらの村に／影響を与えている←主語が何かわからない。この村のダイオキシンなどの言葉が入ればOK

4. ×顔／学歴／我が社／やる気があれば入社できます。←このように「にかかわらず」との混同が多々みられた。

5. ×暮らし向き／夢をもてれば志を遂げる←これも「にかかわらず」との混同と思われる。後件も「遂げる」という言い切りはおかしく、「遂げられるだろう」となる e. g. お金持ちの人に限らず誰でも夢を持てば、志はとげられるだろう。

【D】 ~だけのことはある (文)。Xだけのことはある／

~だけあって XだけあってY

Xだから当然Yといういい結果になる。Xには努力、経験、地位に関連する語彙がくる。

例1 T: 家で毎日3時間勉強するAさんと家で全然勉強しないBさん。能力試験の結果はどうだったと思いますか。

S: Aさんは合格した。

T: そうなんです。毎日3時間勉強しただけあって、Aさんは高い点数で合格したんです。Aさんは380点でした。毎日3時間勉強しただけのことはありますね。

1. A: あの方は球を投げるフォームがとてもきれいですね。

B: 分かりますか。やはり昔野球の選手だっただけのことはありますね。

その他 体／丈夫 投球／上手

2. (指導教授が学生に) さすがに長い時間かけて研究しただけのことはありますね。きみの研究発表はとてもすばらしかった。

その他 3年間研究を続けた／みごとでしたよ

3. 長い間住んでいらっしやるだけのことはありますね。 この町のことはよくご存知で。

その他 ・この町の研究をしていた。

4. 有名人が起こした事件だけあって、この事件には多くの人が関心を持っていますね。

その他 ・被害者が多かった。
・実況をテレビで伝えていた

5. 昔新聞記者をしていただけあって、彼はとても情報収集が上手だ。

その他 ・新戦略を頑張って進めた／他社と違って赤字にならなかった
・毎日牛乳で顔を洗っている／彼女の肌はとてもきれいだ

2. ×専門家／（が）有名な科学雑誌に載りましたよ←専門家だけでは不足
×実験した／賞をとりました←努力の言葉を加える必要がある。また、
「研究発表が賞をとる」もおかしい。e. g. 長年実験を繰り返した／高く
評価されましたよ

4. 文全体の内容はいいことであるとは言えないが、「人々の関心を集める」
ことは無視される、あるいは関心を持たれないことよりいいことだと受け止められる。

5. ×景気が良くなった、時給が高くなった←前件に「努力 or 経験」が含まれていない。

上級で学ぶ日本語
第5課 使いましょう

【A-1】 ~ないとも限らない

[意味] ~という可能性が少しある・多少なりとも~かもしれない

~ないということは100%確実なことではない。

何も起こるはずがないと思って安心していないで、何か対策を立てたほうがいいということを使うのに使うことが多い。(2と4)

ひょっとしてうまくいくかもしれないので、はじめからあきらめないで挑戦してみたらと促すときや命令、決心にも使う(1と3)

[接続]動・い形・な形・名の普通形現在否定+とも限らない

例1 T:今日はアルバイトの面接に友達が行きます。みなさんは友達ののんびりしておおざっぱな性格がとても心配です。もうすぐ時間ですが、友達はまだ準備していない様子。友達を黙って見えていますか?何か言いますか?

S:早く出たほうがいいよ。持ち物は大丈夫?

→電車が遅れないとも限らないから、早めにでかけたほうがいいんじゃない。

→パスポートも見せてと言われなくても限らないから、持って行ったほうがいいよ。

例2 T:とてもいい仕事ですが、よく見たら、経験者優先と書いてあります。友達は経験がありません。面接に行くのを止めようかと言いました。弱気な友達に何か一言。

S:優先だけど、経験がなければやれないとは書いてないよ。

→経験がなければ絶対できないともかぎらないから、思い切って行ってみたら?

例3 T:みなさんは保険に入っていますか。私は生命保険に入っています。病気で手術を受けたり、入院したとき、事故や災害などで障害者になったり、死んだときに保険金が支払われます。保険に入っている人は多いです。どうしてでしょう。

S:人生何が起こるかわからないから。急にお金が必要になるかもしれない。

T:・・・ないとも限らないから保険に入るのです。

1. A:やっぱりだめかな。(アイスクリームの天ぷらって聞いたことあるけど、チョコレートの天ぷらはできるかな?)

B:うん、でも、できないとも限らないから、一度やってみようよ。

*ダイビングやスノーボードなど二人で相談している場面もいい。

2. (アルバイトの作業中の注意) 何かの間違いで大事故を起こさない/大けがをしないと

も限らないから、十分注意しなければなりません。

* 科学のクラスの実験の注意、遊園地の経営者から係員への注意などもいい。

3. (先輩が通訳のアルバイトを紹介してくれた。難しそうだから無理だと一度ことわったけど、先輩はまだ勧めている)

実際にやってみればやれないとも限らないから、挑戦してみたら。

* 起業を躊躇している友人への一言でもいい。

4. (保険)将来、病気で働けなくなるなら癌にならないなら事故に遭わないとも限らないので、保険に入っておいたほうがいい。

* 貯金の勧めもいい。

【A-2】 ~とは限らない

[意味] ~ということがいつも正しいとは言えない。

一般的に正しいと認められる事柄について例外もあると言うのに使う。

[接続]動・い形・な形・名の普通形+とは限らない

前に、いつも、必ずしも、全てなどのことばが入ることが多い。

- 例1 T: ことばの意味を調べるときに辞書を使いますが、辞書の説明はいつも正しいですか。

S: ときどき間違っていることもあります。使わない例文もあります。

T: 辞書の説明がいつも正しいとは限りません。

- 例2 T: わたしはよく、いろいろな人に「学生時代はバスケットの選手でしたか」と聞かれます。どうしてでしょうか。

S: 背が高いから。

T: でも、背が高い人はみんな学生時代にバスケットをやっていますか?

背が高いからといって、みんなバスケットボールをやっていたとは限りませんよね。

1. A: 日本の大学生ってひまそう/アルバイトばかりしてるね。

B: そうかな。日本の大学生すべてがひまだアルバイトばかりしてるとは限らないと思うけど。

2. (模擬テストのとき) いつもちゃんとできているからといって、本番でもうまくいくとは限らないでしょう。

3. (昔勉強したテキスト) 全く見ないとは限らないので、捨てずにとってあります。

* (A大学受験) 全く駄目/無理/可能性がないとは限らないので、とりあえず受けてみ

てもいいと思いますよ。

A-1 全く可能性がないとも限らない (可能性は僅かだが、少しはあるかも)

A-2 全く可能性がないとは限らない (A-1 より可能性は高い)

4. (雑誌で紹介されていたレストラン、パーティーで使おうか・・)必ずしも雑誌で紹介されていた店がいいとは限らないから、一度行ってみてから予約したほうがいいと思います。

[学生の誤用]テストの際A-1 とA-2 の混乱が見られたとのこと

×学校の成績が優秀だからといって成功しないとは限らないいうまくいかないとは限らない。

【B】 ～ずにはいられない

[意味] どうしても～してしまう・つい～してしまう・思わず～してしまう

意志の力では抑えられずに自然にそうしてしまうという意味 (感情を表す動詞が前に使われることが多いのは、感情をおおっぴらに出すことがはばかれるという日本人の心情が裏にあるのではないか)

[接続]動・ない形+ずにはいられない する→せずにはいられない

例1 T: ラテン系の人たちを知っていますか。音楽とダンスが大好きだそうです。どんな音楽でしょう?あの人たちは静かに聞きますか。

S: ダンスをします。

T: 静かに聞いていることができません。我慢できません。音楽を聞くと体を動かさずにはいられないのでしょうか。

(これはいけないことではない。やっちはいけない事柄、例えばデート中に綺麗な人を見かけて振り返らずにはいられなかったなど、のほうがかわいしいのではという意見あり。)

例2 T: ○○さんは、ヘビースモーカーですね。休み時間になると必ずバルコニーへ行きます。どうしてですか。

1. A: ストレス、大変でしょうね。

B: ええ、ストレスがたまると飲まず/やけ食いせず/何かに当たらずにはいられないこともありますね。

2. 人類の将来/地球の未来を考えると、不安を感じ/悲觀的にならずにはいられなくなります。
*日本の社会、たび重なる飲酒運転による事故など社会問題が作りやすい
3. のんびりしている様子を見ると、「勉強しなさい!」と言わずにはいられないときもあります。
4. 笑ったら失礼だと分かっているでも、笑わずにはいられないときもあります。
5. (1の会話の続き) 飲まずにいられなくなったら、いつでもわたしを誘ってくださいね。
タバコを吸わずにいられなくなったら、ガムをかむといいですよ。

[学生の誤用]前件と後件の接続がうまくできていなかったとのこと。

×夫婦の間で理解せずにはいられなくなったら、離婚します。

→お互い理解できなくなったら、離婚せずにはいられない?離婚せざるを得ない?

(自然にそうになってしまう事柄ではないので、~ずにはいられないはおかしい)

衝動的な行動を表す表現であるため、積極的に行動する動詞は使えるが、後ろ向きに行動する意味合いのものは使わない。

例) ○愛さずにはいられない・好きにならずにはいられない

×きらいにならずにはいられない

【C】 ~ないものが

[意味] それを何とか成立させたいという動作や変化の実現を強く望む話し手の気持ちを表す。実現がなかなか難しい状況で用いられることが多い。

[接続]動-ない形+ものが 可能を表す動詞+れる-ない形にもつく

例1 T: 私は朝のラッシュ時間に通勤しています。とても大変です。どうか改善してほしいです。通勤が楽になったらいいなと考えています。

→もう少し通勤が楽にならないものかなあ……。 (独り言)

楽にならないものだろうかと思います。(発言)

1. A: (エアコン修理 12月上旬に申し込んだ) もうずいぶん待っているんです。もう少し早くしていただけないものでしょうか。
B: すみません。今年中には何とかいたしますので、もうしばらく……。
2. (講義の途中で) もう少しゆっくり/ていねいに/わかりやすく説明してもらえないものだろうか。このままではみんな分からないよ。

3. 彼、もっといい仕事探せ/仕事減らせ/家族サービスでき/おとなしくならないもののかなあ。今のままでは家族がかわいそうだ。
4. (ダイエット、禁煙) いろいろ試してみたんですが、だめなんです。何か効果的な方法がないものでしょうか。
5. (1の会話、電話する前の気持ち) いつまで待たせるのだろう。早くできないもののかな。
 * (夫を待つ妻) いつまで残業してるのだろう。早く帰ってこないもののかな。
 (妻を待つ夫) いつまで化粧してるのだろう。手早く終わらないもののかな。
 いつまで作ってるのだろう。早く出来上がらないもののかな。

[学生の誤用]いつまで、いつになったらと間違えている人がいたとのこと。

×いつまで立派な人になるのだろう。/夢を叶えるのだろう。

【D】 ~からして

[意味]<例示>一つの例をあげて、ほかもちろんだが、という気持ちを表す。極端な例や典型的な例を示して、「それでさえそうなのだから、ましてほかのものは言うまでもない」という気持ちを表すのに用いる。マイナス評価が多い?(1と4.)

<根拠>~から判断して 推量の根拠、判断の手掛かりを表す。(2と3)

[接続]名+からして

例1 T: この学校は小さい学校なので、先生たちは何でもやります。所長の〇〇先生でも・・・。

→所長の〇〇先生からしてパーティーの買い物も掃除もします。

(この例文はマイナス評価ではない。マイナス評価の事柄が一般的ななら、あの国は大統領からして汚職にはまっている、などが適切かという意見あり。)

例2 T: 今日は〇〇さんはやすみですね。昨日熱が39度出て、喉も痛いという電話がきました。それなら、インフルエンザに違いありませんね。

→その症状からして〇〇さんはインフルエンザに違いありません。

1. A: 山田君は社会人/大学生になって変わったね。
 B: そうだね。やっぱり社会人/大学生になると、あいさつのしかた/顔つき/服装/言葉づかいからして違ってくるよね。
2. (ミュージシャン風の人)
 A: あの人、何か変わった仕事してるんだろうね。
 B: うん、そうだね。外見からして、ふつうの会社員には見えないからね。

3. (シャネルのバッグに毛皮のコート) 持っているものからして、お金持ちだ/派手好きだ/見栄っ張りだということが伝わってくるようです。

*相手の本性を知っての発言である。

4. A: どうして、そんなに田中さんを嫌うんですか。

B: 声/目つきからして意地悪そうな感じがするんですもの/気持ち悪いんですもの。

5. (高級レストラン) あの店は食器からしていいものを使っています。

<例示>の場合と<根拠>の場合では「~からして」を言う時の強調のしかたが違う。

<例示>の場合前の部分を強調

あのマンションは入り口の扉からして、高級そうだ。

<根拠>の場合後ろを強調

あのマンションは入り口の扉からして、高級そうに見える。

[学生の誤用]

×山田さんは弱い身からして、病気がちに違いない。

→弱々しそうな体格からして、病気がちに見える。

×上野公園は桜の花からしてきれいだ。

→女優の小雪さんは座り方からしてきれいだ。

→上野は歩いている人からして庶民的だ。

×持っているものからして便利だということが伝わってくる。

→持ち物について言っているのではない。持っている人についての判断でなければだめ。

A-1やDを扱う場合、教科書通りの順でなく、文型の意味の同じものをまとめて練習したほうが混乱が少ない。

上級で学ぶ日本語
第6課 使いましょう

【A】～ともなく

接続①：疑問詞＋(助詞)＋ともなく

意味：どこ、いつ、だれ等の疑問詞を受けて、場所、時間、人物などを話者がはっきり特定できていないことを表す。→1,2

接続②：疑問詞＋(助詞)＋動詞辞書形＋ともなく

意味：意志的行為を表す動詞を受けて、その動作がはっきりした意図や目的なしに行われている様子を表す。→3,4

導入：

- ①通りを歩いていたら、どこからともなく、おいしそうなカレーのにおいがしてきた。
クリスマスソングが聞こえてきた。
- ②(一緒に歩いていた)彼女は誰に言うともなく、「お腹すいた」とつぶやいた。
「クリスマスか」とつぶやいた。

1. 毎朝、我が家の猫 _____ はどこへともなく 出かけていく。
事件解決後、スーパーマン _____ 飛び去っていった。
2. いつからともなく、あの病院には幽霊が出るといううわさが広まった。
駅前に若者が集まって楽器を演奏したり歌を歌ったりするようになった。

*学生が作った文

「いつからともなく、日本語が聞き取れるようになった。」は何となくすわりが悪い。
「～できるようになった」とは合わないのか？うわさ等の自然発生的な現象と一緒に使った方がしっくりくるのではないか。

3. 何を買うともなく、ただ商店街をぶらぶらした。
ただ商店街をぶらぶらしていたら、山田さんに会った。
4. 何をするとともなく、一日中家でぼんやりしていた。
一日中家でぼんやりしていたら、合格通知が届いた。

*3,4 では特に～しようと思っていなかったところに何かが起こった、何かを発見したという使い方が多いので「～ともなく～たら、～」の構文にして提示した方が誤文が減るのではないか。

5. 誰からともなく、クラスで卒業旅行に行こうという話が出てきた。

【B】～にほかならない

接続：名詞 / から・ため + にほかならない

意味：それ以外にない。まさに～だ。と～を強調して断定的に述べる場合に用いるかたい表現。

導入：

- ・選挙で民主党が圧勝したのは、自民党政治に対する国民の不満の表れにほかならないと思います。
- ・当選できたのは、皆様のご支援のおかげにほかなりません。(大勢を前にした挨拶)
- ・能力試験1級に合格できたのは・・・？ 先生方のおかげにほかならない。
私が努力したからにほかならない。

1. 今の私がある (の) は、両親のおかげにほかならないのです。
2. 高速道路を無料化して車の利用を増やす (の) は、環境への破壊行為にほかならないのです。
たかが包装のために過剰に紙を使う (の) は、
3. クローン技術の研究 ~~(の)~~ は、神への挑戦にほかなりません。
*代理母など微妙な問題も出てくると思われるので、この表現の強さについても説明
し必要なら文末を変えるよう指導した方がよいのではないか。
(例) 代理母による出産は、神への挑戦にほかならないと考える人もいます。
4. 心の病気になる人が増えている (の) は、現代の社会に問題があるからにほかならないと思われ
ます。
家族間の殺人が増えている
5. 父が肺がんになった (の) は、若いころからタバコを吸い続けてきたから にほかなりません。

【C】～というよりむしろ…

接続：動詞・形容詞・名詞の普通形+というよりむしろ…

意味：～という言い方・考え方もできるが、…という言い方・考え方のほうがより適切だという話者の判断を表す。

導入：

- ・(アイドルの写真を見せて) この人はかわいいですね。
(お姉さん系女優の写真を見せて) この人も…かわいい？きれい？

「きれい」のほうがぴったりです。 → 彼女はかわいいというよりむしろきれいだ。

- ・彼女は几帳面というよりむしろ、神経質だ。
- ・外国語の勉強は受験のためというよりむしろ、視野を広げるために役に立つ。

1. A : 環境破壊はその国だけの問題でしょうか。

B : その国だけの問題というよりむしろ、全世界の問題だと思います。

2. A : ダイエットをするのは、健康を考えてのことでしょうか。

B : いいえ、健康のためというよりむしろ、外見を気にしてのことでしょう。

3. A : 結婚して仕事をやめる女性が多いのは、仕事をしたくないからなのですか。

B : いいえ、仕事をしたくないというよりむしろ、男性が家にいてほしいと望むからでしょう。

(出産) 仕事をしたくないというよりむしろ、続けたくても続けられないの
でしょう。

4. A : 孤独死 / なかなか正社員になれないの は個人の問題でしょうか。

B : いいえ、個人の問題というよりむしろ、社会全体の問題と言ったほうがいい
でしょう。

A : サラリーマンの過労死は個人の問題でしょうか。

B : いいえ、個人の問題というよりむしろ、その国の労働意識のあり方の問題だ
います。

5. A : 最近、女性が強くなったと思いませんか。

B : 女性が強くなったというよりむしろ、男性が弱くなったんじゃないですか。

* 「～」を全否定はできないが、もっといい言い方があると示したいときに使われる表現だが、ここでは練習問題全てがA Bの対話形式になっていて、否定のニュアンスが強い(否定の婉曲表現?)。導入でもしくは練習問題の後に「○○は～というよりむしろ・・・」の形でも練習した方がいいのではないかな。

【D】～といえども

接続：動詞・形容詞・名詞の普通形 + といえども

意味：～と聞いて普通予想されることに反したことが成立することを表す。書き言葉。

～といっても。

導入：

- ・冬山は、経験豊富な登山家といえども、常に遭難の危険がある。

・イチローといえども、WBCではスランプに苦しんだ。

1. 休みの日といえども、主婦は休めない。
遊んでばかりいるわけにはいかない。
2. 医療技術の進歩した現代といえども、アルツハイマーの特効薬はまだ発明されていない。
3. いくら財政難といえども、消費税を20%にするわけにはいかないでしょう。
いくら高齢者による事故が多発しているといえども、田舎で暮らす老人から免許を取りあげるわけにはいかないでしょう。
4. 千葉市のゴミの量が減ったといえども、まだまだ努力が必要です。
(新型インフル) 熱が下がったといえども、まだまだ 安静／注意が必要です。
5. 子供といえども、公共の場所ではマナーを守らなければならない。

上級で学ぶ日本語
第7課 使いましょう

【A】 ～てならない

自然にある感情や感覚がしきりに（反復・継続）起こってきて自分ではコントロールできない状態を表す。

押さえようとしても押さえられない状態で、そのためその感情の程度が非常に高いことを表す場合が多い。

「～てならない」の前には感情や感覚で欲求を表す言葉が用いられ、ものの属性や評価についての言葉を用いると不自然な文になる。

（誤）この本はつまらなくてならない。

（正）この本はすごくつまらない。

「～てしかたがない」とほぼ同義語だが、「～てしかたがない」とは違って、感情・感覚・欲求以外の言葉を用いるのは難しい。

（誤）赤ちゃんが朝から泣いてならない。

（正）赤ちゃんが朝から泣いてしかたがない。

やや古めかしい言い方で、書き言葉に多く用いられる。

注意する文法項目は

～てしかたがない・～てたまらない（一時的な事項）

導入：友だちが宝くじに当たったと聞いて、羨ましくてなりませんでした。

もうすぐ彼に会えると思うと、嬉しくてならない。

1. _____ どうか、気になってなりません。
留学試験の結果が届いたかどうか・予定どおり工事が終るかどうか
会議がちゃんと始まるかどうか・合格したかどうか
2. どうして_____かと不思議でなりません。
子どもの頃、どうして海が蒼いのかと・地球が丸いのか・海に波が起こるのか・
彼女がどうして彼を選んだのかと _____ でした。
3. _____ てからしばらくは寂しくてなりませんでした。（継続）
日本に来てから・一人暮らしを始めてから・恋人と別れてから・ポチが旅立ってから
4. _____ という話を聞いて、_____ なりませんでした。
～さんが XX 大学に合格した・～さんが玉の輿に乗った/羨ましい・悔しい

あの店がつぶれてしまったと聞いて/残念

腹が立つ・不愉快・羨ましい・口惜しい・心配

5. _____と、_____なりません。

財布にお金が入ってないと・携帯を持っていないと・メールが一通も来ないと/不安
もうすぐ彼に会えると思うと/うれしい

誤) 親の声を聞くと嬉しくてならない

【B】 ~うにも (ない)

気持ちはあるのだが、不可抗力な事項が存在してそれをすることができない。

前件と後件の動詞が同じ場合と後件が条件事項の場合がある。

導入：インフルエンザになった。仕事に行こうにも行けない。

1. とても怖くて_____うにも、_____ませんでした。

近づく・逃げる

2. 風がとても強くて_____うにも_____ない状態でした。

傘をさす・目を開けよう・ヘアスタイルをキープする

3. A：たくさんアルバイトをして給料一杯もらったんでしょう。

B：ええ、でもこんなに忙しくては_____うにも_____ませんよ。

ショッピングに行こうにも休みもとれない

4. A：日曜日なのにどこへも行かないんですか。

B：_____ので、_____うにも_____。

年寄りがいる・給料日前・電車が止まっている

5. A：_____。

B：_____ので、_____うにも_____。

着ていくドレスがない・とても緊張していた(面接で)・子供を預けられない

【C】 ついでに

①その機会を利用して。本来の目的を果たすときに、追加の形で何か他のことをもする場合に用いる。

②本来の目的を果たす行為に加えて、追加の形でほかの行為もするという意味を表す。

名詞は活動を表すものを用いる。

- ・毎日の本来の目的が重要なので
誤) 学校へ行くついでに
誤) 仕事に行ったついでに
- ・わざわざ行くからついでに時間を活用する
正) ~ (臨時) の仕事のついでに
正) 銀座へ出たついでに
主目的+追加
注意) へりくだる意味があるので以下は誤用
・こちらのほうへいらっしゃることがあったら、ついでに
誤) お弁当を買って来てください

1. 銀行へ行くついでに、_____。
弁当を買って来る
2. 部屋を掃除したついでに、_____。
ベッドの位置を変える
3. 買い物のついでに、_____。
郵便局へ寄る
4. _____。そのついでに、_____。
5. _____ついでに、_____。
京都へ行ったついでに奈良も回った。
京都へ行くついでに名古屋で降りた (時制は?)

[D] Nといい、Nといい

例としてふたつのものを取り上げるのに用いる。

その二つだけでなく、他のものもそうであるという意味が含まれることが多い。

批判や評価の文で使い、特別な感情 (呆れるほど、驚くほどという気持ち) を表わす。

1. 進一君は_____といい、_____といい、お父さんによく似ています。
貫禄・実力 態度・目つき 目・鼻
2. この店の料理は_____といい、_____といい、ほかの店とは比べものになりません←セールス? ぐるなびの口コミ良い評価?
この店はサービス・雰囲気/素材の良さ・素材の鮮度
3. 最近では_____ことといい、_____ことといい、(留学生は) 生活

が大変です。

アルバイトが減った・円高が進んだ

4. 今度引っ越すところは_____といい、_____といい_____。

間取り・日当たり 前の家よりずっといい・今のアパートよりグレードが落ちる
後件は悪いことでも大丈夫

5. _____ は _____といい、_____といい、_____。

日本は四季の移ろいの美しさといい、伝統行事を大事にしていることといい、さすがに先進国になって長いだけのことはある。

上級で学ぶ日本語
第8課 使いましょう

【A】 ～途端（に） a（～した） 途端、 b

現象・状態の変化が起こった直後に、b が起った。突然起こる予想外あるいは予想に反する瞬間的変化である。ある行為の直後に突然おこったこと、また予想外だったことから驚きの気持ちをこめて表現される。

導入例：・窓を開けたとたん、冷たい風が部屋に入ってきた。

・ドアを開けたとたん、中から猫が飛び出した。

・ドアを開けて中に入ったとたん、彼は倒れてしまった。（同一主語）

練習例：

1. 家を出た途端（に） 帽子が風でとばされてしまった。 / 雨が降りだした。

×誤用例：猫がいた。 / 猫を見た。

2. 結婚したら、とたんに彼は冷たくなった。 / 彼は毎日早く帰るようになった。

注：悪いこととは限らない。前件と後件の差が大きくてびっくりした、という気持ちのあるもの。

3. 国の方針が変わった。その途端（に）、経済の混乱が始まった。

4. 彼はそのビールを一口飲んだ。その途端（に）真っ青になった。 / 倒れてしまった。

【B】 ～なり～なり a（名詞・動詞普通体現在）なり、b なり

方法・手段の例示。許容可能な選択肢を示し、その中から選ぶよう求める。ただし、その中から一つ選べ、と言う要求ではない。

「AとかBとか」より、自由、肯定的な感じが伝わる。Aもよし、Bもよし、といったニュアンス。

導入例：

T：風邪をひいたときは、水分をとったほうがいいですね。お茶でもいいし、ジュースでもいいです。

→ 風邪をひいたときは、お茶なり、ジュースなり、水分をとったほうがいい。

・今日は天気が悪くなるから、出かけるときは、傘なりレインコートなり、（雨具を）持っていったほうがいいですよ。

T：皆さん、日本語でわからない言葉があったときはどうしますか。

→ S：辞書をひく、友だちにきく、漢字を書いて日本人にみせる

T：そうすれば、何とかなりますね。辞書がなくても大丈夫ですよ。

→ わからない言葉があったときは、友達にきくなり、漢字を書いて日本人に見せるなりしてください。そうすれば何とかなりますよ。

練習例：

1. _____なり、_____なり、好きな物を選んでください。

注：どういう場面で誰が誰に対して発する言葉か。目上の人、お客様に対しては使わない。

例：(すし店で) 今日は、私をご馳走しますから、まぐろなり、うになり、好きなものをえらんでください。→○

(宝石店で) ダイヤモンドなり、真珠なり、好きな物を選んでください。プレゼントしますよ。→○

2. 困ったときは一人で悩まずに 先輩に相談するなり 先生と話すなりして、解決してください。

3. 休みの日は寝てばかりいないで、勉強するなり、体を動かすなりしなさい。

4. 現地に行くなり、人に話をきくなりして、とにかく早く情報を手に入れてください。(新聞の取材)

インターネットで調べるなり、直接入試課に電話で問い合わせるなりして、とにかく早く情報を手に入れてください。(大学の入試情報)

5. (辞書がないとき、どうしますか。)

人に教えてもらうなり、書いてもらうなりすれば、何とかわかりますよ。

【C】 ~はおろか a はおろか、 b も/さえ/まで ~ (ない)。

aはもちろんのこと、bさえも、～。文末は、ネガティブな内容のもの、または否定形がくるとは限らない。

導入例：日本へ来たばかりのころは、全然日本語ができませんでした。日常の会話はもちろんできませんでした。挨拶も、できませんでした。

aにあたるものとbとの位置づけを図示する。それを理解するために、同一テーマでいくつか例を出し合うとよい。

→ 日本へ来たばかりのころは、日常会話はおろか、挨拶もできなかった。

→ 日本へ来たばかりのころは、漢字はおろか、ひらがなも書けなかった。

→ 日本へ来たばかりのころは、テレビやテーブルはおろか、布団もなかった。

練習例：

1. 爆発の被害は、発電所周辺はおろか、ヨーロッパ全土にまで広がってしまいました。

2. 僕の給料では一戸建てはおろか、ワンルームマンションさえ買えない。

3. 彼女は画家として日本はおろか、海外でも知らない人はいない。

有名である。 → OK

4. (あなたの日本語力が) 今のままでは 専門書 はおろか、新聞を読むことすらできません。

【D】～あまり a (名詞) の / (動詞普通体) あまり b

感情的行為 aが大変強かった結果、引き起こされた、普通はやらないことまでやってしまった、というような結末、bを述べる。

導入例：留学試験の作文は難しいですね。よく考えて書くことは大切ですが、よく考えようと思う気持ちが強すぎると、考える時間がかかって、時間が足りなくなってしまう。
→よく考えようと思うあまり、作文を書く時間が足りなくなってしまった。急いで書くのもよくないですね。

→時間を気にして、早く書こうと思うあまり、

→急いでいたあまり、内容が浅くなってしまった。

字が汚くなってしまった。

緊張していましたか？

→緊張のあまり、何も考えられなかった。

練習例：

1. 交通事故で子供を失った母親は、悲しみのあまり、病気になってしまった。

2. 私は感動のあまり、しばらく席を立てなかった。

注：「～のあまり」に接続可能な感情を表す言葉

→〇くやしき、さびしき、喜び、苦しみ

×苦しき、うれしき

3. あの人は娘を愛するあまり、結婚相手まで自分で選ぼうとしている。

4. 物質的な豊かさを求めるあまり、精神的な豊かさを失ってしまったのではないだろうか。

上級で学ぶ日本語
第9課 使いましょう

【A】 ～や否や

本文：ホテルから一步踏み出すや否や、自然に足が速まる。

接続：動詞の辞書形

意味：～すると同時に、あるいは間をおかずに引き続いてすぐに次の物事が行われる。

書き言葉。報道のような客観的な文章にはあまり使われない。

類義表現：～と同時に、～なり、～が早いか

導入：(大切な用事がある学生) 授業が終わるや否や、教室から飛び出していった。

1. 息子は家へ帰るや否や、食事もせずに自分の部屋でゲームを始めました。
2. 彼女は手紙を読み終わるや否や、急いで返事を書きはじめました。
3. テレビでそのニュースが報道されるや否や、容疑者の家にマスコミ関係者が殺到しました。
(会社に問い合わせ・苦情の電話が殺到・反対運動が巻き起こりました。)
4. 受話器を置く(電話を切る・会社から連絡を受ける)や否や、父は慌てて家を出ていきました。
5. 母親の顔を見つけるや否や、その子は彼女に向かって走り出しました。

【B】 ～をもとに(して)

本文：緻密な計算をもとに、神殿はすべて曲線と曲線を組み合わせて出来ている。

接続：名詞

意味：あるものを材料・ヒント・根拠などにして。

類義表現：～に基づいて(～をもとにして、～を根拠として)

導入：ひらがなとかたかなは漢字をもとにして作られたものです。→4

1. 長年の研究をもとに(して) 新製品を開発しました。
→～をもとに製品を開発
2. 世論調査の結果をもとに(して)、国民の生活実態・国民の要望を探りました。(新しい政策を考えます。)
3. これは実話(史実・古い伝説)をもとに(して)書かれた作品です。
4. ひらがなとかたかなは漢字をもとに(して)作られたものです。
5. 自分の経験をもとに(して)小論文を書きました。(後輩にアドバイスしました。)

【C】 ～のみならず

本文：これらの工夫は、単に美的効果のみならず（中略）実用面からも綿密に計算されたものだと言う。

接続：名詞、動詞・い形容詞普通体、な形容詞・名詞＋である

意味：それだけではなく。あらたまった書き言葉。

類義表現：～だけ・ばかりではなく、～ばかりか（意外）、～に限らず

導入：宮崎駿は日本のみならず世界中で評価されています。（人気があります）

→各国の有名人

アニメーションは、現在では子供のみならず幅広い世代に愛されています。

1. この音楽家の名前は国内のみならず海外でも知られています。
2. 環境破壊は先進国のみならず開発途上国にまで大きい影響を与えます。
3. あの人は有名なピアニストであるのみならず、優れた作曲家でもあります。
4. 彼が自分の会社を持つことができたのは本人の努力のみならず家族の協力があつたからです。
5. 大学入試では日本語能力のみならず一般的な知識も求められます。

【D】 ～にせよ（～にしる）

本文：領土、民族、宗教と、原因は何であるにせよ、人間は自ら築き上げた神殿をその同じ手で傷つけてもきた。

接続：名詞、動詞・い形容詞普通体、な形容詞・名詞＋である

意味：①軽い仮定。かりにそうであったにしても。前件の内容は事実だ、あるいは仕方ないと認めるが、という意味。→**D**-1-4

②並列、列挙。同類のもの、選択肢・可能性のあることを並べ、あげられたどの場合にもあてはまることを表す。→**D**-2

③並列、列挙。疑問詞 ～にせよ（しる）の形で、例外がないことを表す。

→**D**-1-1～3

類義表現：～にしても、～にしたってとほぼ同義。

くだけた話し言葉 ～にしたってく～にしてもく～にしるく～にせよ かたい書き言葉

導入：日本で就職するにせよ、帰国するにせよ、自分の意志で決めなければなりません。

どんな道を選ぶにせよ

→**D**-2-1

【D】-1 ～にせよ／しる

1. 原因が何であるにせよ、早急に解決する必要があります。
2. 何をするにせよ、事前の準備（自分の意志・努力・最後まで投げ出さないこと）が大切です。
3. 誰が行うにせよ、改革は必ず成功させなければなりません。慎重に進めなければなりません。
4. たとえ難しい問題があるにせよ、一度始めた以上やめるわけにはいかない。

【D】-2 ～にせよ、～にせよ／～にしる、～にしる

1. 日本で就職するにせよ、帰国するにせよ、自分で決めなければなりません。
2. 参加する（出席・行く）にせよ、参加しない（欠席・行かない）にせよ、あらかじめ知らせてください。
3. 勝つにせよ、負けるにせよ、どちらにせよこれが最後の試合です。
4. 部長にせよ、課長にせよ、管理職は部下のことなど何も考えていません。（仕事のことになると決して妥協はしません。仕事面のみならず人格的にも尊敬できる人ばかりです。）

【A】～際二／～際して

本文：昨年開かれたアジア環境会議に出席した際に、(中略)若いボランティアを紹介された。

接続：A-1 ～の際に～します/しました

A-2 ～する際に～します/～しました

A-3 ～した際に～しました

A-4 名詞・動詞+に際して

意味：「とき」に言い換えられるが「とき」よりも硬い言い方。

「際して」は何かをする(が起る)ときにあたって。

導入：・入院の際に用意していただくもの・・・

非常の際には、係員の指示に従って・・・

(降車時)料金はお降りの際に、お支払いください

お降りの際には、お忘れ物のないように・・・

・核安全保障サミットに出席した際に、鳩山氏がオバマ大統領と会談できたのはわずか10分間だった。

日本へ来る際に、いろいろな方にお世話になりました。

・施設ご利用に際して・・・、お申し込みの際して・・・

(公共施設等のパンフレットに注意事項記載)

—— 「～にあたって」に言い換えられる

1. この件に関しては次の会議の際に、結論を出すことにいたします。
2. 二酸化炭素の削減／ごみのリサイクル／ごみのリユースはエネルギー問題を考える際に、何よりも優先されるべきだ。
3. 三年前海外旅行をした際に、初めてパスポートを作りました／そのデジタルカメラを買いました。／初めて飛行機に乗りました。
(海外旅行を具体的な地名にしたほうが作り易い。
・・・三年前中国を旅行した際に、古い友人の陳さんに再会できました。)
4. オリンピックを開催するに際して、多くのボランティアの協力が必要です。
〃 新たに多くの競技施設が建てられました。
5. 調査の実施に際して、学識者の意見が取りまとめられた。
〃 周辺住民の了解を得なければならない。
〃 プライバシーの保護は最優先されるべきだ。

※4. 5は「～にあたって」前準備の意味を表す。

【B】 ～からには

本文：学歴社会で生きていくからにはと、かわいそうだと思いながらも、いやおうなく塾へ通わせたいでしょう。

接続：動詞＋からには

意味：「ある状況になった以上は、最後まで貫く。他の選択がない／しない」という表現。

「～する以上は」「～した以上は」と同じ意味

依頼、命令、意志、当為(そうすべき事)などを表す文に用いる。

導入：

- ・ 覚悟して日本へ来たからには、頑張って自分の目的を果たしたい。
 - ・ 仕事と子育てを両立させると決めたからには、ある程度の困難は覚悟している。
 - ・ 最近は大人家族というのが話題になっているが、社会人になったからには、親から自立することを考えるべきだ。
- 1、社会人であるからには、当然公私ともに責任ある行動をしてほしい／自分の行動に責任を持つべきだ／常識ある行動をするべきだ。
 - 2、彼がそう言うからには、必ずやり遂げるに違いありません。
〃 事実に／そうに／本当に違いありません。
 3. 一度やろうと決めたからには、最後までやり通すべきだ／最後までやるつもりです。
〃 途中で投げ出すべきではない。
 4. プロが一度仕事を引き受けたからには、どんなことがあってもやり遂げなければなりません。
たくさんのお客さんがいらっしゃるからには、ちゃんと準備しなければなりません。
みんなの前で発表するからには、いいものを作りたい。
 5. この人を信じると決めたからには、無罪を勝ち取るまで裁判で戦っていこうと思う。
彼は無実だと信じたからには、〃
父が反対するからには、この結婚はあきらめなければならない。
飛行機が飛ばないときまったからには、今日の出発はあきらめなければならない。

【C】 ～割には

本文：努力の割には、成績が中の上から上にはいかなかった・・・

接続：名詞＋の割には・な形容詞＋な割には・い形容詞＋い割には・動詞＋割には

意味：前件から常識的に予想される基準と比較すればということを表す。

プラス評価、マイナス評価とも使える。

導入：

- ・あのレストランは、値段の割には、材料も良いものを使っているし美味しいと評判だ。
- ・彼は日本に十年住んでいる割には、日本のことをあまり知らない。

1. いつも遊んでいる割には、彼はテストではいい成績をとっている。
2. 話すのが上手な割には、彼のレポートは文章がなっていない。
〃 テストでいい点がとれない。
〃 アルバイトの面接がうまくいかない。
3. 外国人労働力の導入／環境破壊／基地問題 について、新聞紙上などで取り上げられている割には、それに関して無関心な人が多いです。
4. あの歴史映画／ドラマ は制作費が安い割には、時代考証／内容はよくできています。
値段が安い割には、このカバンはよくできている。
初級の学生が書いた割には、この作文はよくできている。
5. 学生時代、勉強した割には、あまりいい成績が取れなかった。
彼は、いつも忙しく仕事をしている割には、お金がたまらないと言っている。
民主党は初めの勢いの割には、政策が迷走していて、国民の支持が離れてしまった。
今回の事業仕分けは国民が期待していた割には、思ったほど成果がでなかった。

【D】 ～ものなら

本文：できるものなら、自分で自分のやったことを評価できる今の生活が続けられれば、それに越したことはない。

接続：動詞＋ものなら 動詞の可能形／可能動詞＋ものなら

意味：実現する可能性の少ないことに関して、「もし実現した場合は」と仮定する
「～ものなら～たい」の文型で使われることが多い。

導入

- ・A：試験前には、アルバイトを休んで勉強に専念してください。
- ・B：休めるものなら、休みたいですよ。でもそんなことしたら、すぐやめさせられちゃいますよ。
- ・できるものなら、米軍基地は日本にないほうが良いと思うんですが・・・。

1. できるものなら、夏は一月ぐらい涼しい所で暮らしたいです。

2. 会社に希望を聞いてもらえるなら、今回の転勤はなしにしてもらいたい。
この作業やってもらえるものなら、誰かにやってもらいたい。
一人暮らしをしていると、誰かに食事を作ってもらえるものなら、作ってもらいたい
と思うことがある。
3. 入院せずに済むものなら、なんとか自宅療養で完治させたい。
4. こんなたいへんな仕事、やめられるものなら、今すぐにでもやめたい。
5. 生まれ変わるものなら、鳥になりたい。
昔にもどれるものなら、もどりたい。

上級で学ぶ日本語
第11課 使いましょう

【A】 ～きり

～してそのままずっと。～したのを最後に次に起こるはずのことが起こらないで予想外の状態が続いている。予期せぬ状態、結果に対する驚き、期待はずれの気持ちを表す。

本来は～するのが自然、普通、当然だが、長い間～

接続：動詞の「た形」 「これ、それ、あれ」

例1：授業中、先生にしかられた彼女は「すみません」と言ったきり下を向いてしまい、その日は一日中何も話そうとしなかった。

例2：(隣人について、警察、TV局などに聞かれたとき)

「お隣の方には去年引っ越してきたときご挨拶をしましたが、それっきり一度も姿を見たことはありません」

類似表現 ～たまま (状態が続いている) ～きり (最後)

彼は先週家を出たきり、帰らない。(帰るのが当たり前だが)

彼は先週家を出たまま、帰らない。(帰らない状態が続いている)

練習例

1 彼は_____きり、二度と帰ってきませんでした。

5年前に家を出て行った 父親とけんかして家を出た

「ちょっと買い物に行ってくる」と言って出かけた

2 1ヶ月前に_____きり、全く_____。

*練習のやり方について考えた。前件を提示して後件を考えさせる、例文全体を一つ提示しその後は学習者の発想に任せる、会話文として練習するなどが出た。

(会話として)

A:国に帰った友達とはよく連絡をとりあっているのですか。

B:一か月前に 空港で別れたきり、全く連絡がとれません。

(前件を提示)

一か月前に最後の一本をすったきり_____。

3 _____が、それきり何の連絡もありません。

どんなことがあったのか場面を提示して文を作っていく

自転車をとられて警察に届けた、定期券を落として駅員に届けた、
アルバイトの面接をうけた、

4 _____のはこれきりにしましょう。

よくないこと、やめたいと思っていること

5 予想外、期待はずれなどの気持ちがはっきりとわかるよう学習者の作成文を具体的に
していくことが必要だと思います。

・彼とは大学を卒業したきり一度も会っていません。

→ ・私たちは同じサークルの仲間でしたが、彼とは大学を卒業したきり
今日まで一度も会っていません。

(決まった言い方)

寝たきり老人 着たきりすずめ

【B】～にしては

接続：動詞の普通形、名詞、名詞＋である *形容詞は使えない

×安いにしては質がいい

意味：～だから当然～はずだが、それに反して～

～から考えて当然であると思われる程度にない（「～わりに」と同じ）

～にふさわしくなく

例1：中国語の勉強を始めたばかりの頃、先生から「初めてにしては発音が上手ですね」
とほめられてとてもうれしかった。

似ている表現：～わりに

*「～にしては」と「～のわりに」のニュアンスの違いは今回もとても盛り上がった。

・日本人のわりには発音がうまい

(日本人全体が発音が下手という前提があり、その中では上手いと言っている。

このように言われてもあまりほめられているとは感じられず、うれしくない)

・日本人にしては発音がうまい

(発音が上手いので、日本人であるということが間違いなのではないかということまで

ほめかされている？ このように言われるととてもほめられている感じがする)

(○) 年のわりには若い (×) 年にしては～

練習

1 A：あの先生、五十歳なんだって。

B：あら、そう。でも五十歳にしては_____

場面・・・スポーツ大会、カラオケ、授業中など(*会話の表現、「あら、そう」は女性)

よく動けるね 若いね(本当は40代?) 老けているわね(本当は60代?)

2 A：あの人、料理学校へいつているんだって。

B : へえ、料理を習っているにしては_____。

この会話をしている場面、人間関係はどんなものなのでしょうか。

手際が悪いね。 おいしくないね。

3 A : 今度の講演会、準備に半年もかけたんですって。

B : そう。 半年もかけた _____ にしては たいしたことなかったわね。

4 A : モーリスさん、先月、日本へ来たばかりだそうだよ。

B : _____ にしては_____。

来たばかりにしては 日本のことをよく知っているね。

日本人の知り合いが多いよね。

【C】 ~なり

【C-1】 ~なり

接続：動詞の辞書形 / 動詞のた形（今回は取り上げない）

意味：動詞の辞書形へ接続して

~すると同時にふつうではない動作をした

時間的にとても瞬間的、すぐに、間髪をいれず、という意味

後ろのことが予想外のこと、とても驚いたという話者の気持ち

後ろには具体的・瞬間的なことがくる

(×) 席に座るなりゲームを続けている

例1 : (電車の中で) スーツ姿のサラリーマンが席に座るなりゲームを始めた。

例2 : 制服姿の女子高校生が、席に座るなり化粧を始めた。

練習

1 父は家へ帰るなり_____。

どなり始めました。風呂場に飛び込みました。

着替えもしないでビールを一本一気に飲んでしまいました。

2 先生は教室に入るなり、_____。

あいさつもせずテスト用紙を配り始めました。

3 彼女は「_____」と言うなり_____。

「わかりません」というなり泣き出してしまいました。

「もうダイエットはやめた」と言うなり冷蔵庫の中の物を食べ始めました。

【C-2】 ~なりの/~なりに

意味：~にふさわしい、~の程度にあった、~の力の及ぶ範囲で

届かないかもしれないけれど、最高ではないかもしれないけれど

例1：作文を書くときには先生や友達が言ったことではなく、自分なりの考えを書いていくことが大切です。

例2：大人にはわからないかもしれませんが、子供には子供なりに考えているものです。

例3：先生のお考えもよくわかりますが、私は私なりのやり方でやってみたいと思います。

例4：がんばればがんばったなりの結果がでます。がんばらなければ、それなりの結果しかできません。(～に応じた)

練習

いずれも、相手に対して自分のどのような気持ちを伝えるかがポイント。

(同じ文であっても謙虚に感じられたり、ひとりよがりと思われたり、相手からの干渉を嫌っていると思われたりする)

- 1 ほかにの人にどう思われようと、私は私なりに_____。
生きていきます。やってみます。がんばります
- 2 努力したら努力したなりの_____。
結果がでるでしょう。(誰が誰に話しているのかを明確に)
- 3 忙しいなら忙しいなりに 連絡の方法があるでしょう _____。
できる範囲でやればいいでしょう。

*形容詞

わからないならわからないなりに、収入が少ないなら少ないなりに、
下手なら下手なりに、できないならできないなりに、

- 4 上手にできたとは言えないが、それなりの_____。
評価をもらいました。 できばえです。味になりました。

上級で学ぶ日本語
第12課 使いましょう

意味や例文はおもに「教師用マニュアル」から引用。

【A】 いったん

意味1 一度、まず／一時的（に）

進行中の行為や動作を**一次中断**して、他のことを行う

例文 ①ここでいったん休憩して、それからもう一度続けましょう。

②天候が思わしくないから、いったん引き上げましょう。

③いったん戸締りを見に家へ帰ったんですが、会議には十分間に合いました。

①は一般的な例だろう。休憩した後に休憩前に行っていた行為をもう一度行なう。

「いったん」の時間的な長さはあまり長くない。

②も天候が回復した後、もう一度続けることが前提。しかし、天候によっては一時中断ではなく、中止になる場合も考えられる。

③は、「駅に行く途中で鍵をかけたか不安になり、もう一度家に戻ってから、また駅に行く」という点では、①②と同様だが、「会議に間に合った」ことが強調されている。

教科書「使いましょう」では下記のとおり。

- | |
|---|
| 1. いったん _____ から、一時にロビーに集まってください。 ……意味1 |
| 2. このお金はいったん _____ において、それから使い方を相談しましょう…意味1 |
| 3. _____ は、いったん _____ と、簡単にやめられない。 ……意味2 |
| 4. いったん _____ と、決めたからには、 _____ だ。 ……意味2 |

1.2 で作りやすいのは、1が「いったん荷物を置いてから、～」、2が「このお金はいったん銀行に預けておいて、～」ではないかと思うが、この場合、「ロビーに集まった後、もう一度荷物を運ぶこと」や、「金の使いみちの決定後にまた銀行に預けること」にはやや不自然さを感じる。とすれば、「後件部分の行為の前提」という意見のほうが説明しやすい。

意味2 一度～たら、後で変えられない／もう前の状態には戻れない。

「A が起きると／A という状態になると B は避けられない／B の状態・動作が続く」

仮定条件とともに用い、「いったん A たら／れば／と／からには、B」という形で多く使われる。

- 例文** ①父はとても頑固で、いったん言い出すと、簡単には引き下がらない。
②彼はいったん飲み始めたら、酔いつぶれるまで飲み続けるだろう。
③いったん災害が起これば、大惨事になるだろう。

教科書本文例（意味2の文）

「…人間社会という全く本来の生活環境とはかけ離れた生活パターンの中で生きることを強いられることに変わりはない。そして、いったん人間社会で飼育されると、そのうち生存するための本能を失い、…」

[B] ～あげく

意味 ～した結果、とうとう／～したけれども、結局

「さんざん A したのに、結局 B という望ましくない結果に終わった」

この場合「A した時間」は長く、「さんざん」「いろいろ」「長い時間」とともに用いられることが多い。

○さんざん悩んだあげく、彼と別れることにした。

×あの時、悩んだあげく、彼と別れることにした。

*あげくの果て（に）、そのあげく

例文 ①苦労したあげく、とうとうあきらめてしまった。

②苦労したあげく、とうとう成功した。

③さんざんご馳走になったあげく、家まで送らせてしまった。

意味としては、「望ましくない結果に終わった」とあるが、②の例は、「成功した」という良い結果である。

文としても違和感を覚える。これに対しては「苦労したあげくに、とうとう成功した」ならば違和感はないという意見が出された。しかし、結果がプラスの場合は、「苦労した末に、とうとう成功した」のように、「末に」を使うほうがより自然だという意見もあった。

下記は『日本語文型辞典』の例文。どちらも結果オーライという感じだが、嬉しさよりも疲れた印象がある。

①好きでもない上司のご機嫌を取ったり、家族に当り散らしたりの大騒ぎをしたあげくの昇進であった。

②姉は籍入れないのだから一緒に住まないのと言って親と対立し、すったもんだのあげくによう

やく結婚した。

教科書「使いましょう」

1. 二十年間も苦労したあげく、_____。
2. _____あげく、何も買わずに帰りました。
3. 長い間辛い仕事をさせられてきました。そのあげく、_____。
4. 彼は友人に裏切られて商売に失敗しました。あげくの果てに_____。
5. _____あげく、_____。

教科書本文例

「モルモット、マウス、うさぎ、犬、猿などが、医療技術進歩の目的で、故意に感染、発病させられ、そのあげく、手術台へ送られメスを入れられる。実験に使われる動物は、雑菌に冒されてはいけないなどの厳しい条件があり、特殊な環境で繁殖、飼育される。」

しかし、「さんざん A したのに、結局 B という望ましくない結果に終わった」という意味を考えたとき、「雑菌に冒されないように厳しい条件、特殊な環境で繁殖、飼育したあげく、感染、発病させられる」としたほうが、「あげく」の使い方を理解させやすいのではないだろうか。

【C】 ~ないことには

意味 ~しなければ

「Bする／Bできる／Bになるためには、Aが必要条件である。」

後件には否定文がくる。話者の否定的、消極的な気持ちを表す。

- 例文
- ①この点が理解できないことには、先へ進めない。
 - ②気候が穏やかでないことには、この研究はできない。
 - ③もう少し値段が安くならないことには、交渉の可能性すらない。
 - ④毎日練習しないことには、勘が鈍ってしまう。

「Aが必要条件」とすると、導入の際には、②,④は状況説明が必要でわかりにくい。教科書「使いましょう」では、進路、アルバイトなど学生たちにとって身近なテーマで、文を作る学生が多く、その方向で進めると導入しやすい。

1. 彼が来ないことには、面接が始められない。
2. 体が丈夫でないことには、(肉体労働の) 仕事ができない。
3. 文化祭の内容が決まらないことには、この計画を進めることができません。
4. 進路が決まらないことには、何をしても面白くありません。
5. 朝、メールを見ないことには、一日が始まらない。

また、ここでは、こう言われた場合、日本人なら「ああ、そうだった。」と、ハッとするような気持ちをどう説明できるかがポイントだとの指摘が出た。確かに、そのことで

「必要条件」の意味合いが理解しやすくなる。その点では、教科書本文は新薬の開発における動物実験についてなので、必要性が理解しやすい文である。

教科書本文例

「医療技術や医薬品を新しく開発しても、動物実験を経ないことには、人間に用いるわけにはいかない。」

[D] ~たら~たで

意味1 どちらにしても大変だ／問題だ

「Aという望ましい状態になっても、それに付随してBという問題が起こった／起こるだろう」対照的な事柄を取り上げて、どちらにしても同じだという意味。

前後に同じ動詞、形容詞を2度繰り返して使う。

例文 ①入社したら（入社）したで、苦しいことも多々あった。

②入社したら（入社）したで、苦しいことも多々あるでしょう。

③子供がいたらうるさいが、いなかったらいなくて寂しい気もする。

（子供がいたらいたでうるさいが、いなかったらいなくて寂しい）

意味2 何とかなる／（問題はあがる）さほど困らない。

「Aという望ましくない状態になっても、Bという手段をとる／とればいい」

例文 ①失敗したら失敗したで、またやり直せばいい。

②できなかつたらできなかつたで、次の対応を考えよう。

③できないならできないで、次の対応を考えよう。

④できなかつたらできないで、次の対応を考えよう。

教科書「使いましょう」

1. A: 大学合格おめでとうございます。

B: ありがとうございます。

でも、大学に入ったら入ったで、お金がかかって大変。……………意味1

2. A: 雪子さん、約束した時間に来るかしら。

B: まあ、来なかつたら来なかつたで、なんとかなるよ。……………意味2

3. A: 小林先生、最近よくテレビや新聞に出てるね。

B: そうだね。でも、有名になったら、なつたで、付き合いが大変だよ。…意味1

4. A: もっと簡単にお金儲けできないかなあ。

B: そう言うけれど、あつたら、あつたで、大変だよ。……………意味1

5. A: 今度のテスト、心配だな。

B: できなかつたら、できなかつたで、追試を受ければいいよ。……………意味2

教科書本文例

「病気になったらなつたで、あえて運命には逆らわないというのであれば、話しは別だが、・・・」

教科書「使いましょう」に見られるように、「～たら～たで」は、通常、話し言葉で使われることが多く、本文導入の場合、文章での使い方のフォローがしにくい。また、会話練習としても、実際にどういうときに使えばいいのか、学生にとってはわかりにくいのではないかという指摘が出た。

1～3・4では、文末表現に「大変だよ」が使いやすいので、大変になる状況を考えさせて、例文を作らせることもできる。同様に、2，5では、「何とかなる」が当てはめやすい。

その他、話し言葉を書き言葉の文体に書き換えさせるとか、誤用例からどこが間違っているのか、直す時間を設けることが有効だという提言があった。

上級で学ぶ日本語
第13課 使いましょう

【A】～であれ、～であれ

【意味】**硬い話し言葉** **フォーマルな書き言葉**

「どちらの場合であっても」の意味。後件は事態に変わりがないことを示す表現が続くことが多い。

(～であっても、～であっても／～でも、～でも と同じような表現)

【接続】NであれNであれ(主に名詞を用いる、な形容詞を用いることもある)

【導入】T: 昔、田舎の小さい村の病院に患者が来ました。一人は金持のひと、一人は貧乏な人、皆さんが医者だったら、どちらを先に診察しますか?

S: 金持ち、、、貧乏、、、(といろいろ言う)

T: 病気が重い人から見ますよね。・・・「金持ちであれ、貧乏であれ、医者患者を平等に診察するべきだ。」

【練習問題】

1. 生活の難しさは_____であれ、_____であれ、あまり変わりません。
身体障害者 知的障害者
日本人学生 外国人留学生
2. 人間であれ、動物であれ、_____。
子供はかわいいものだ
生命があることに変わりはない
生きる権利を持っている
3. _____であれ誰であれ、_____。
総理大臣／社長／大統領／主席 法を犯してはならない
4. _____はたとえ理由が何であれ、_____。
殺人 裁かれなければならない
願書の提出の遅れは 受け付けられない／認められない
5. _____であれ、(_____であれ、) _____。
日本人 中国人 同じ仕事をするなら平等に扱われるべきだ。

【B】～としか言いようがない

【意味】他の可能性を否定して、それだけしか言えないと強く主張するのに用いる。(マイ

「将来について散々悩んだあげく、思い切って会社に退職届を出した。」

【練習問題】

1. どうしようかと散々悩んだあげく、_____。

進学をあきらめた／転職することにした
彼女と別れた／日本での就職をあきらめた

※誤用：会社は倒産した／大きな事故が起こった

2. 全員で散々話し合った結果、_____。

B案を採用することに決まった／
事務所を移転させることに決まった

※話が二転三転した様子

3. 普段散々遊んでおいて、_____。

試験でいい結果が出るはずがない／
困ったときだけ頼ってくるなんてムシが良すぎる

※形を固定したほうが文を作りやすいかもしれない

例) 今さら_____しても_____。→今さらあわてても遅い

今さら_____なんて_____。→今さら試験前にあわてるなんて遅い

4. 昨日は散々_____ので、_____。

遊んでお金を使った 今日からしばらく節約生活をしなくてはなら
ない

飲んだ 今日には二日酔いで頭が痛い

カラオケで歌った 今日のはのどが痛い

5. _____は散々_____（あげく）、_____。

〇〇さん 飲み食いしたあげく、片づけもしないで帰って行っ
た

【D】精々

【意味】<副詞> D-1：多く見積もったとしても。たかだか。

D-2：力の及ぶ範囲で努力する様子。できるだけ精一杯。自分自身ま
たは身近な人に言う。

※思い切り、たくさん…ではないので注意する（限度があることを
知っているニュアンス）

【接続】精々＋句

【導入】

（案）D-1

「日本のサッカーが強くなったといっても、精々16強に入れる程度だ。」(ワールドカップ)

D-2

「結婚してしまうと自由がなくなるから、独身のうちに精々好きなことをたくさんしておこう。」

【練習問題】

D-1

1. 私が彼にしてあげられることは、精々_____ (ことぐらいだ)。
早く良くなることを祈ることぐらいだ
お見舞いに行く (こと) ぐらいだ
※「ことぐらいだ」は固定したほうがいいと思われる
※誤用：お見舞いに行く／お見舞いに行くしかない
2. 日本語がいくら上手になったといっても、精々_____。
旅行で不自由しない程度だ／
(ぐらいだ)
日常生活で困らない程度だ
3. いくら努力しても／(頑張っても)、精々_____。
このくらいの記録しか出ない／
県大会に出られるぐらいだ (スポーツ)
4. _____ (の) は精々_____。
貯金できる 月々3万円ぐらいだ／(でしょう)
全速力で走れる 100メートルぐらいだ
食べられる 3つぐらいだ (ケーキバイキングの場合)

D-2

1. このような機会はそんなにないので、精々_____。
楽しみたい／楽しみましょう
2. 来週から忙しくなるので、精々_____。
今のうちにたくさん本を読んでおこう／
週末はゆっくりしよう
ゆっくりして来てください(上司が部下に言う場合)
3. _____ ので、精々サービスさせていただきます。
いつもたくさん購入していただいている

4. _____、若いうちに精々やりたいことをやっておきなさい(と言われました)。

年を取ったらなかなか出来なくなるから

家庭を持ったら思い切ったことが出来なくなるから

人生短いんだから

※ある年齢に達した人が年下に対していう言葉だと考えられる

上級で学ぶ日本語
第14課 使いましょう

【A】 Aにかけては

意味：A（人、国、会社）に関しては。Aの素質や能力に関しては自信がある、外より優れている。Aには優劣がつけられる内容、競う内容が使われ、Bには常にそれに対して、「一番だ／誰にも負けない」という評価を下す表現が来る。

語彙：A＝名詞（学生が自分では上手く考えられない可能性有り）

〈導入例〉※共通認識の項目が必要。

- ② かいものを作る技術にかけては、日本は誰にも負けない。（自分の国で言わせる）
- ②（歌手だったら）声の良さ／かわいさ／歌のうまさにかけては____の右に出る者はいない。
- ③（会社の）〇〇の分野／××の技術にかけては…

〈教科書例文〉※傍線部分は指導書記載の例

1. 彼は普段、何でも遅いのに、食べることにかけては誰よりも速いです。
（何故わざわざ何でも遅いと限定するのだろうかという疑問が出た）
2. 会社経営に関する情報にかけては、この本が一番だろうと思います。
3. 私は何もできませんが、野菜を作ることにかけては、誰にも負けません。
（農家の人謙遜しつつも自分の仕事にはプライドをもっているという解釈ができる）
→「何もできません」という部分は「知識はないが」という謙遜か、それとも本当に何もできないのかで2つの解釈が出た。
その他傍線部に入るものとしては、【体力／力仕事／粘り強さ／精神面】等が出た。
4. 良いレストランを見つけることにかけては、彼女が一番でしょうね。
5. 車を直すことにかけては、彼より上手な人はいません。

〈学生作文例〉A－5

- ・雰囲気にかけてはこの店は最高だと思います。（雰囲気は店が作っているものなのでOK）
- ・大学設備にかけてはこの大学が一番いいと思う。

〈間違い例〉

人口にかけては中国が一番だ／温泉にかけては…（いろいろな物が考えられる物は使えない）

【B】到底～（ない）

意味：全体として話者の強い否定の気持ちを表す。「どんな方法をとっても、どう考えても無理だ、不可能だ、あり得ない」という意味を表す。書き言葉的。

感覚ではなく、はっきり分かるもの。（時間的な物に使いやすい）

上司や先生と話すとき、事務的なことを話すときの言葉。

語彙：動詞の可能形、あるいは不可能、無理などを表す言葉と使われる。

類似表現：絶対（絶対→考えなし、感情的／到底→考えたけれどやっぱりない。）

〈導入例〉

- ①今から走っていても到底間に合わない。
- ②私の成績では奨学金をとるのは到底無理だと思います。

〈教科書例文〉※傍線部分は指導書記載の例

1. 彼が事件を起こすなんて、到底信じられません。
2. いくら頑張っても、到底明日までには終わらないだろうと思います。
3. あの人が部長になるのは、到底無理だと思います。
4. こんな条件は、到底認められません。
5. 今からやっても、到底間に合わないでしょう。

※1と3は「絶対」を使った方がいい。

〈学生作文例〉B-5

- ・毎日練習しても、到底銀メダルも取られなかった※文末が過去には使えない。
→優勝はできないだろう。
- ・彼女にいくら弁解しても、到底彼女は信じてくれないですだろう。／～そうにない。
- ・いくらがんばっても、到底東大に入りません。は入れません。

【C】Aが最後B

意味：「一度Aをしたら／という状態になったら、容易には変わらない（であろう）」「Aのようなことをしたら、もう全てがだめになる、最後だ」という話者の否定的な判断、推量を表す。一般論で、話者が「怖い」という感情を持っているものに使う。

語彙：A＝動詞のた形

B＝「(Aで想定したことは) 少々のことでは変わることがない」という意味の表現

※一度、いったん、ひとたびなどの副詞と一緒に使われることが多い。

例①) ここで会ったが最後、謝ってもらうまで逃がしはしない。(おどしの働き)

例②) この計画を聞いたが最後、あなたもグループに加わってもらおう。(命令の働き)

例③) 学校内でタバコを吸っているのを見つけたが最後、停学は免れないだろう。

(一般的なことを述べる)

※例①と②は使わないので、学生には教えなくていい。

〈導入例〉

①あの人に話したが最後、翌日にはみんな知っている。

②樹海は一度入ったが最後、出ることができない。

③一度情報が流失したが最後、もう止めることができない。

〈教科書例文〉※傍線部分は指導書記載の例

1. 一度自分のものにしたが最後、決して他の人に譲ったりしないつもりでいます。

→「つもり」というあやふや表現が使えるのか？

2. 仕事を始めたが最後、彼は寝るのも忘れてやる人です。

(話しかけても何も聞こえなくなる、何を言っても無駄、止められない…という意味)

3. 一度決めたが最後、容易には変わりません。→状況提示：役所の方針や政治に対して

4. サラリーマンは上司に嫌われたが最後、それまでです。

5. 一度嫌われたが最後、あの人は二度と付き合ってくれません。

〈学生作文例〉C－5

・一度反対したが最後、賛成できないはずです。

・一度大学への進学を決めたが最後、私は最後まで諦めずにがんばります。

・PCゲームを始めたが最後、私は徹夜でやります。

※3つとも「怖い」という感情を伴わないので、不適切。

【D】～だけは～

意味：「Aをしても良い結果／成果は期待できないと思う／思ったが、Aをしなければどんな成果も考えられないから、とりあえずAをする／した」という話者の思いを伝える。この程度のことまではするが、それ以上のことは期待しない、要求しない。

義務感、義理の気持ち有り。初めから「無理かな…」という気持ちがある。一応やったよ、という言い逃れ、言い訳。

語彙：A＝動詞の辞書形、B＝「Aた／Aてみる／Aておく」

〈導入例〉

- ①親が行けと言ったのでA大学を受けるだけは受けたが、あまり行く気はしない。
- ②宿題をするだけはしたのですが、正しいかどうかは分かりません。／全部はできていません。

〈教科書の本文〉

たくさんのまがい物を作るだけ作って、品物や食料の大量廃棄を続ける私たちに…
→「VるだけVて」そのこと以外の、他にすべき事をしない…という意味

〈教科書例文〉 ※傍線部分は指導書記載の例

1. 買うだけは買って見たものの、結局そのジョギングの機械はほとんど使っていません。
2. あの人の話はあまり信用できませんが、聞くだけは聞いておきましょう。
3. A：先生が勧めてくださった本を読んでみましたか。
B：ええ、一応最後まで読むだけは読んだのですが、ほとんど理解できませんでした。
4. A：試験はどうでしたか。
B：自信はありませんが、書くだけは書いたので何とか合格できるでしょう。
→「何とか合格できるでしょう」という根拠が分からないので、「後は結果を待つだけです」のような内容にした方がいい。
5. 自分私の考えを言うだけ(は) 言てみましたが、あの人が自分の考えを変えるとは思えません。

上級で学ぶ日本語
15 課 使いましょう

【A】～弾みに

本文 その大切な心のよりどころが、どうした弾みにかミエの指を擦り抜け夜の海に姿を消してしまったのだ。

用法① 「～た弾みに」 「ある動作の余勢で」という意味で、予想しないこと、意図しないことが起こることを表すのに使う。『日本語文型辞典』pp. 502

「人が～した瞬間に、それがきっかけや機会になって、うっかり/つい/ふと/誤って～が起こった」という人間の不注意や動作に伴って偶発した事態を表す表現。

前件について

- ・動詞 人の行為を表す動詞がくる／行為の種類（ドアを開ける、本を読む？瞬間動詞）

後件について

- ・前件の行為が及ぼすことから

- a. 人とぶつかった弾みにコンタクトを落としてしまった。
- b. 突き飛ばした弾みに友人にけがをさせてしまった。
- c. 倒れた弾みに顔を打ってしまった。
- d. 滑った弾みに足をくじいてしまった。

1. ころんだ弾みに、足をくじいてしまった。／ズボンのひざが破れてしまった。
2. 後ろから肩をたたかれた弾みに、ころんでしまった。

※「雷がなった弾みに／風が強く吹いた弾みに」など、自然現象とともに用いると不自然
風でドアが開いた弾みに・・・はOK

誤用例 1. 今朝目が覚めた弾みに、地震を感じてしまった。

後件が前件の行為の勢いで起きたことではないため、不可

誤用例 2. TIJ 日本語学校に来ることを弾みに日本語の能力が急に上昇した。

誤用例 3. 後ろから肩をたたかれた弾みに、持っている本が落ちてしまった。

→持っている本を落としてしまった

用法② 何かの弾みに／ふとした弾みに／どうかした弾みに、という形で使われるものは、

たまたまそうなったという意味。

注意 本文の用法はこれにあたる。「弾みに**か**」と、「か」が不可されている。

3. 何かの弾みに、鍵を落としてしまったようだ。／人に話してしまうかもしれない。

用法③ 「～が弾みになる」機会、動機、きっかけ

e. 今回の勝利は、世界大会へ向けての良い弾みになると考えられている。

f. 今回の受賞を弾みに、さらに良い作品を作りたい。

g. 無罪を勝ち取り、再審を望む他の被害者の弾みとしたい。

4. 首相の演説がが弾みとなって、支援の輪ががどんどん大きくなっていきました。(広がっていきました)

☆後件には、プラスのことが来るのが自然ではないか。

【B】～どころではない

本文 指輪のことを何度も聞かされていた学生たちは、もう夜光虫どころではなくなった。

意味：実状は～の程度ではなく、～以上にもっとすごい。～のことにする余裕がない。

h. この1か月来客が続き、勉強どころではなかった。

i. こんなに天気が悪くては海水浴どころではない。

1. A：今度の日曜日、映画でもどう。

B：すみません。仕事がたまっているので、映画どころではないんです。

2. A：今日もお仕事ですか。

B：ええ、安月給な／年度末なもので、ゴールデンウィークどころじゃないんですよ。

3. A：旅行は楽しかった？

B：それどころじゃなかったんですよ。電車の事故で／風邪をひいて大変だったんですよ。

4. A：冬の北海道は楽しかったでしょ。

B：いやあ、楽しい／楽しむ／楽しかったどころの話じゃないですよ。

学生文1. A：明日もバイトですか。

B：いいえ、能力試験があるので、バイトどころではないんです。

学生文2. A：12月に国へ帰りますか。

B：国へ帰るところではありませんよ。進学のことをまだ終わらないので。

注意 会話で用いると強い表現のため相手に不快感を与える恐れがある。

【C】 ～とって[～ない]

本文 とはいえ、これとって手立てを思いつくわけでもなく、しばらくは手持ちぶさたにミエを遠巻きにしてたたずんでいるばかり。

意味：取り上げるべき～が特にないことを表す。

どこ・なに・いつ・これ等、疑問詞やこれと一緒に使うことが多い。

j. 食べ物の好き嫌いはこれとってないんですが、お酒は全く飲めないんです。

k. ゴールデンウィークといっても、どことって行きたいところもないし・・・

1. これとってアイデアも出ないまま、会議は終わってしまった。
2. 多くの人に会ったけれど、誰とって印象に残っている人はいない。／付き合いたい人はいない。
3. この品物は、高い／安い割には、どことって 他の商品と違う所はない。
4. 毎日忙しいので、いつとって特に時間を決めて運動しているわけではない。
5. この計画は、何がどうとって 検討すべき点はない／特によい点はない／目新しいところはない。

【D】 ～でなくて何だろう

本文 同じ人間として、楽しいとき、うれしいときには喜びを、苦しいとき、悲しいときには痛みを率直に分ち合う。これこそが国際化、国際理解の出発点でなくて何だろう。

意味：嘆きや怒り、感動などの対象を示して、反語的な表現で強調する。これはまさに～だ、これこそ～だという意味を表す。書き言葉的な表現

XはAでなくて何だろう→X という状態をAで表し、Xは本当にAだとAを強調する表現

- l. そして張り裂けるような狂気の喚きが、それ自体、まさに死なんとしつつある人の叫喚でなくてなんだろう。([坂口安吾 明治開化 安吾捕物 その七 石の下](#))
- m. それらは、侵略国日本が中国人民と中共からかすめとった取奪物でなくて何だろう。(宮本百合子 五〇年代の文学とそこにある問題)
- n. これが血みどろの戦場でなくてなんだろう。(桐野夏生『ナニカナル』書評：[鴻巣友季子](#))

o. あの国の大統領は国民の意見は無視して何でも自分一人で決定する。これが独裁者でなくてなんだろう。

1. 公の場で個人の生活について言いたくないことまでいろいろ尋ねられた。

これが プライバシーの侵害／パワハラ／人権の侵害 でなくてなんだろうと考えさせられました。

2. この間亡くなった A さんは、ほとんど休みを取ることなく働いていたそうです。

これが 過労死 でなくて何でしょう。

3. 外国人に部屋を貸さないなんて／同じ仕事をしているのに給料が安い。

これが差別でなくて何だろうと、強くそう思いました。

4. 新薬の開発のために動物実験を行う。

一体、これが動物虐待でなくて何だろうと憤りを感じます。

☆小説や随筆に多く使用されるとあったが、実際には使用頻度は低いようだ。学習者にとって、意味が理解できればいい表現ではないか。